

令和7年10月入学

令和8年 4月入学

大学院創成科学研究科
博士前期課程
・ 修士課程
学生募集要項

山 口 大 学

目 次

●アドミッション・ポリシー	1
●入学者選抜の概要	3

理学系

選抜試験の実施時期	4
●推薦入試による選抜	
I. 出願資格	5
II. 出願手続等	5
III. 選抜方法等	7
IV. 合格発表	7
●一般選抜	
I. 出願資格	8
II. 出願手続等	9
III. 選抜方法等	11
IV. 合格発表	13
●社会人特別選抜	
I. 出願資格	14
II. 出願手続等	14
III. 選抜方法等	16
IV. 合格発表	17

工学系

選抜試験の実施時期	18
●口述試験による選抜	
I. 出願資格	19
II. 出願資格事前審査	20
III. 出願手続等	21
IV. 選抜方法等	22
V. 合格発表	22
●一般選抜	
I. 出願資格	23
II. 出願手続等	24
III. 選抜方法等	26
IV. 合格発表	30
●社会人特別選抜	
I. 出願資格	31
II. 出願手続等	31
III. 選抜方法等	33
IV. 合格発表	34

農学系

選抜試験の実施時期	36
-----------	----

●一般選抜

I. 出願資格	37
II. 出願手続等	38
III. 選抜方法等	40
IV. 合格発表	42

共通事項

I. 入学手続	44
II. 障害等のある入学志願者の事前相談	45
III. 出願資格事前審査申請について	47
IV. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例について	48
V. 大規模自然災害により被災した志願者の検定料の免除について	49

山口大学大学院創成科学研究科博士前期課程・修士課程案内	50
-----------------------------	----

●アドミッション・ポリシー

山口大学のアドミッション・ポリシー(大学院)

山口大学は、「山口大学憲章」に掲げる基本理念に基づき、大学院のディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）及びカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を定め、「発見し、はぐくみ、かたちにする」を实践し、地域、日本、世界に寄与できる人材の育成を目指します。そのために、次のような学生の入学を求めています。

「求める学生像」

- 〔1〕 「発見し、はぐくみ、かたちにする」を实践して理論的・実践的研究を遂行するために必要な専門的知識・技能及び意欲をもつ人
 - 〔2〕 様々な視点から物事を論理的・批判的に考え問題解決につなげることができる人
 - 〔3〕 豊かな人間性と社会性を備え、自律心と倫理観をもって他者と協働することができる人
- このような学生を適正に選抜するために、大学院の募集単位ごとに、多様な選抜を実施します。

「入学者選抜の基本方針」

山口大学大学院の教育を受けるにふさわしい能力・適性を備えた入学者を受け入れるために、各研究科が求める能力・適性を多面的・総合的に評価し、選抜します。

創成科学研究科入学試験で重視するポイント

◎：強く重視して評価する ○：重視して評価する

専攻科名等	選抜内容	理論的・実践的研究を遂行するために必要な専門的知識・技能	物事を論理的・批判的に考え問題解決につなげることができる能力	豊かな人間性、社会性、倫理性と協働性の兼備
基盤科学系専攻 数理科学コース	面接	◎	◎	○
	出願書類	○	○	○
	口述試験	◎	◎	○
基盤科学系専攻 物理学コース	学力検査	◎		
	面接	◎	○	○
	出願書類	◎		
	口述試験	◎	◎	○
基盤科学系専攻 情報科学コース	学力検査	◎		
	面接	◎	○	○
	出願書類	◎		
	口述試験	◎	◎	○
地球圏生命物質科学系専攻 生物学コース	学力検査	◎		
	面接	◎	◎	○
	出願書類	◎		
	口述試験	◎	◎	○
地球圏生命物質科学系専攻 化学コース	学力検査	◎		
	面接	◎	○	
	出願書類	◎	◎	◎
	口述試験	◎		

専攻科名等	選抜内容	理論的・実践的研究を遂行するために必要な専門的知識・技能	物事を論理的・批判的に考え問題解決につなげることができる能力	豊かな人間性，社会性，倫理性と協働性の兼備
地球圏生命物質科学系専攻 地球科学コース	出願書類	◎		
	学力検査	◎		
	面接	◎	◎	○
	口述試験	◎	◎	○
機械工学系専攻	学力検査	◎		
	口述試験	◎	○	○
	面接	◎	○	○
	出願書類	◎	○	○
建設環境系専攻	学力検査	◎		
	口述試験	◎	○	○
	面接	◎	○	○
	出願書類	◎	○	○
化学系専攻	学力検査	◎		
	口述試験	◎	○	○
	面接	◎	○	○
	出願書類	◎	○	○
電気電子情報系専攻	学力検査	◎		
	口述試験	◎	○	○
	面接	◎	○	○
	出願書類	◎	○	○
農学系専攻	学力検査	◎	○	
	面接	○	○	○
	出願書類	○	○	○
山口大学・カセサート大学 国際連携農学生命科学専攻	学力検査	◎	○	
	面接	○	○	○
	出願書類	○	○	○

各専攻科・コースのアドミッション・ポリシーは創成科学研究科ホームページをご確認ください。

山口大学大学院創成科学研究科アドミッション・ポリシーURL

<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/gsti/info/admissionpolicy/index.html>



●入学者選抜の概要

1. 選抜方法

推薦入試による選抜、口述試験による選抜、一般選抜及び社会人特別選抜があります。

学系・専攻・コースによって選抜方法が異なりますので、志望する学系・専攻・コースの選抜方法を必ず確認してください。

2. 専攻別募集人員

学 系	専 攻	コ ー ス	募集人員（※1）	
			（令和7年10月入学）	（令和8年4月入学）
理学系	基盤科学系専攻	数理科学コース	若干名	38
		物理学コース		
		情報科学コース		
	地球圏生命物質科学系専攻	生物学コース		42
		化学コース		
		地球科学コース		
工学系	機械工学系専攻	応用医工学コース		60
		航空宇宙エネルギーコース		
		メカノシステムデザインコース		
	建設環境系専攻	社会建設工学コース		74
		国際建設技術コース		
		環境システム工学コース		
		建築学コース		
	化学系専攻	物質化学コース		83
		生命化学コース		
		環境化学・化学工学コース		
	電気電子情報系専攻	電子デバイス工学コース		107
		電子システム工学コース		
		知能情報メディア工学コース		
		情報システム工学コース		
農学系	農学系専攻	農学コース ※2	若干名	36
		生命科学コース ※2		
	山口大学・カセサート大学国際 連携農学生命科学専攻 ※3	農学コース ※2		2
		生命科学コース ※2		

（※1）令和7年10月入学対象では若干名の募集人員になります。

令和8年4月入学対象では、推薦入試による選抜、口述試験による選抜、一般選抜及び社会人特別選抜の第1回、第2回における募集人員を含みます。

（※2）農学系におけるコース分けは入学後、各自、指導教員と相談を行い決定します。そのため、農学系に出願する際は、コースを記載する必要はありません。

（※3）山口大学とタイ王国カセサート大学とジョイント・ディグリー・プログラムを実施する専攻です。カセサート大学では在籍時に修得しておくべき英語に関する要件等があります。詳細については、希望指導教員に必ず事前に確認してください。

（備考）次項以降、学系で表示している箇所は、上記一覧表の学系を意味します。

学系での表示は、学系に含まれる専攻・コースを含みますので、ご注意ください。

理 学 系

- 推薦入試による選抜
- 一般選抜
- 社会人特別選抜

選抜試験の実施時期

基盤科学系専攻、地球圏生命物質科学系専攻（吉田キャンパス）

- A. 推薦入試による選抜（物理学コース・情報科学コース・化学コース・地球科学コース）
令和8年4月入学のみ

区 分	日 程 等
出 願 期 間	令和7年6月2日(月)～6月4日(水)
選 抜 期 日	令和7年7月1日(火)
合 格 発 表	令和7年7月16日(水) 正午予定
入 学 手 続	令和8年2月26日(木)～3月2日(月)

- B. 一般選抜及び社会人特別選抜

- (1) 令和7年10月入学

区 分	日 程 等
出 願 期 間	令和7年7月11日(金)～7月16日(水)
選 抜 期 日	令和7年8月6日(水)、8月7日(木) (予備日) 令和7年8月20日(水)
合 格 発 表	令和7年8月28日(木) 正午予定
入 学 手 続	令和7年9月1日(月)～9月3日(水)

- (2) 令和8年4月入学（第1回）

区 分	日 程 等
出 願 期 間	令和7年7月11日(金)～7月16日(水)
選 抜 期 日	令和7年8月6日(水)、8月7日(木) (予備日) 令和7年8月20日(水)
合 格 発 表	令和7年8月28日(木) 正午予定
入 学 手 続	令和8年2月26日(木)～3月2日(月)

- (3) 令和8年4月入学（第2回）

区 分	日 程 等
出 願 期 間	令和7年11月11日(火)～11月13日(木)
選 抜 期 日	令和7年12月10日(水)、12月11日(木)
合 格 発 表	令和8年1月5日(月) 正午予定
入 学 手 続	令和8年2月26日(木)～3月2日(月)

※地震等の災害、台風の接近に伴う公共交通機関の乱れ及び計画運休等により、試験が実施できない場合は、予備日に試験を実施することがあります。その場合は、試験前日までに本研究科ホームページにて通知します。

●推薦入試による選抜

推薦入試による選抜は、基盤科学系専攻（物理学コース・情報科学コース）、地球圏生命物質科学系専攻（化学コース・地球科学コース）においてのみ、実施します。推薦入試による選抜に出願しようとする者は、所属する（所属した）大学等の学部等の長・学科等の長・指導教員等による推薦書を提出していただく必要があります。

I 出 願 資 格

下記のア又はイの者で、学業成績・人物ともに優れ、推薦者が責任を持って推薦でき、合格した場合、入学を確約できる者。

- ア. 令和8年3月までに大学を卒業見込みの者または卒業した者
- イ. 修業年限2年の短期大学に置かれた修業年限2年の専攻科、修業年限3年の短期大学に置かれた修業年限1年の専攻科、高等専門学校に置かれた修業年限2年の専攻科のいずれかであって、学位規則第6条第1項の規定に基づき大学改革支援・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定された専攻科を令和8年3月までに修了見込みの者で、令和8年3月までに学士の学位の授与を受けようとする者、または修了した者で学士の学位を授与された者

II 出 願 手 続 等

1. 出 願 期 間

専 攻 名 等	出 願 期 間
基盤科学系専攻 (物理学コース・情報科学コース) 地球圏生命物質科学系専攻 (化学コース・地球科学コース)	令和7年6月2日(月)～6月4日(水) 《17時15分 必着》

※持参する場合は、上記出願期間中の9時から17時15分まで受け付けます。

2. 出 願 書 類 等

入 学 志 願 票	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入してください。
写 真 票 受 験 票	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入してください。 写真票の所定欄に、出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きの写真（4cm×3cm）をはってください。
卒 業（修了）証 明 書 または 卒 業（修了）見込証明書	出身大学長（学部長）が作成したもの。 （本学理学部卒業（見込み）者は提出不要）
推 薦 書	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）を使用し、所属する（所属した）大学等の学部等の長・学科等の長・指導教員等が作成し、厳封したもの。
成 績 証 明 書	出身大学長（学部長）が作成し、厳封したもの。 （本学理学部卒業（見込み）者は提出不要） また、専攻科修了見込みの者または修了した者は、専攻科の成績証明書と併せて、短期大学若しくは高等専門学校の成績証明書も提出してください。
研 究（希 望）計 画 書	「地球圏生命物質科学系専攻（化学コース）」に志願する者は、本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に記入のうえ提出してください。

TOEIC 又は TOEFL スコアシート	「地球圏生命物質科学系専攻（地球科学コース）」に出願する者は、TOEIC又はTOEFLのスコアシート及びそのコピーを提出してください。（オリジナルは確認後、返却します。）（公開テスト受験者はデジタル公式認定証でも可）スコアシートは、<u>2022年4月以降に受験したものが有効となります。</u> なお、TOEICについては、TOEIC L&R公開テストのスコアのみ、TOEFLについては、TOEFL iBTが有効です。ただし、大学等において英語カリキュラム制度の一環としてTOEIC又はTOEFLを受験している場合は、大学等におけるTOEIC L&R IPテスト又はTOEFL-ITP（団体向けTOEFLテストプログラム）のスコアも有効としますが、その場合は、TOEIC又はTOEFLを英語カリキュラム制度の一環として取り入れていることが分かるもの（履修の手引きのコピー等）を添付してください。（山口大学理学部在学者または卒業者は、履修の手引きのコピー等を提出する必要はありません。）
検 定 料	30,000円 本研究科所定の払込用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入のうえ最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行で山口大学指定の口座に払い込んだ後、郵便局・ゆうちょ銀行から受け取った振替払込受付証明書（お客さま用）を所定欄にはり付けてください。 なお、納入された検定料は、7ページ「6. 検定料の返還について」に記載の返還請求できる場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
あ て 名 票	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入してください。 なお、出願後住所を変更した場合は、速やかに届け出てください。
そ の 他 証 明 書	【出願資格イにより出願する者】 ・学士の学位を授与された者は学位授与証明書 ・学士の学位を授与される見込みの者は、在籍する短期大学長または高等専門学校長が発行する次の証明書 ①在籍する専攻科の修了見込証明書 ②学士の学位の授与を申請する予定である旨の証明書（様式任意）

※出願書類等については、本研究科入学者選抜において必要なためご提出いただくものであり、これによって得た個人情報、個人情報保護に関する法律第18条第3項各号及び第27条第1項各号に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で使用又は第三者に提供することはありません。

3. 出 願 方 法

入学志願者は出願書類等を取りまとめ、「5. 提出先」へ提出してください。

4. 志 望 方 法

(1) 志望専攻及びコース

志望は1専攻1コースに限ります。

ただし、指導教員毎に受け入れ人数に限りがあるため、事前に希望指導教員と相談してください。

(2) 入学志願票の記入について

ア. 志望学系・受験区分、志望専攻・コース及び希望指導教員

山口大学大学院創成科学研究科博士前期課程案内（50ページ～）を参照のうえ、志望学系・受験区分、志望専攻・コース及び希望指導教員名を必ず記入してください。

イ. 受験区分コード

受験区分コードは、物理学コースは42を、情報科学コースは43を、化学コースは45を、地球科学コースは46を志願票の受験区分コード欄に記入してください。

5. 提出先

山口大学理学部学務係 〒753-8512 山口市吉田1677-1
電話 (083) 933-5215

6. 検定料の返還について

- (1) 次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。
- ①検定料を納入済みであるが山口大学に出願しなかった場合
 - ②検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
 - ③出願書類等を提出したが出願が受理されなかった場合
- (2) 返還請求の方法

上記①又は②に該当した場合は、下記の連絡先に連絡してください。連絡があった後に「検定料払戻請求書」を送付しますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

また、上記③の場合は、出願書類返却の際に「検定料払戻請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ、下記の連絡先に郵送してください。

連絡先 〒753-8511 山口市吉田1677-1 国立大学法人 山口大学財務部財務課 電話 083 (933) - 5098

Ⅲ 選 抜 方 法 等

試験及び出願書類を総合して判定します。

1. 選 抜 期 日

専 攻 名	期 日	試験科目	時 間
基盤科学系専攻 (物理学コース・情報科学コース)	令和7年7月1日(火)	面接	9時30分～
地球圏生命物質科学系専攻 (化学コース)		面接	
地球圏生命物質科学系専攻 (地球科学コース)		プレゼンテーション 面接	

※地球科学コースの試験では、はじめに卒業論文等の研究内容について、液晶プロジェクターを用いてプレゼンテーションを10分間していただきます(PCは各自用意してください)。引き続き、その内容をふまえた質疑応答・面接を行います。

2. 試 験 場

山口大学理学部 山口市吉田1677-1
※裏表紙の案内図を参照してください。

3. 注 意 事 項

- (1) 受験の際は、受験票を必ず携帯してください。
- (2) 携帯電話等は、試験控室に入る前にアラームの設定を解除し必ず電源を切ってかばん等に入れておいてください。
- (3) 提出書類については、出願手続後、内容の変更を認めません。
- (4) 入学試験に関する照会は、次をお願いします。
山口大学理学部学務係 電話 (083) 933-5215

Ⅳ 合 格 発 表

令和7年7月16日(水) 正午予定

創成科学研究科ホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。

なお、電話による照会には一切応じません。

●一般選抜

I 出願資格 []内は令和7年10月入学者対象

出願することのできる者は次のいずれかに該当する者

1. 大学を卒業した者及び令和8年3月〔令和7年9月〕までに卒業見込みの者
2. 学校教育法第104条第7項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和8年3月〔令和7年9月〕までに授与見込みの者
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和8年3月〔令和7年9月〕までに修了見込みの者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和8年3月〔令和7年9月〕までに修了見込みの者
5. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者又は令和8年3月〔令和7年9月〕までに修了見込みの者
6. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和8年3月〔令和7年9月〕までに修了見込みの者
7. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和8年3月〔令和7年9月〕までに授与見込みの者
8. 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）

（以下の出願資格9、10及び11により出願を希望する者は、事前審査を受ける必要がありますので、47ページの「出願資格事前審査申請について」を参照してください。）

9. 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
10. 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月〔令和7年9月〕末までに22歳に達する者
11. 令和8年3月〔令和7年9月〕末日で次のいずれかに該当する者で、所定の単位を優れた成績で修得したと本研究科において認めた者
 - (1) 大学に3年以上在学した者
 - (2) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
 - (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

※出願希望者は、出願前（なるべく早い時期）に、希望する専攻・コースの指導教員に相談すること。

Ⅱ 出 願 手 続 等

1. 出 願 期 間

令和7年10月入学	令和7年7月11日（金）～7月16日（水）《17時15分 必着》
令和8年4月入学（第1回）	令和7年7月11日（金）～7月16日（水）《17時15分 必着》
令和8年4月入学（第2回）	令和7年11月11日（火）～11月13日（木）《17時15分 必着》

（備 考）持参する場合は、上記出願期間中の9時から17時15分まで受け付けます。

2. 出 願 書 類 等

入 学 志 願 票	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入してください。
写 真 票 受 験 票	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入してください。 写真票の所定欄に、出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きの写真（4cm×3cm）を貼ってください。
卒 業（見 込） 証 明 書	出身大学長（学部長）が作成したもの。（本理学部卒業（見込み）者は提出不要）
成 績 証 明 書	出身大学長（学部長）が作成し、厳封したもの。（本理学部卒業（見込み）者は提出不要） 専攻科修了見込み者または修了した者は、専攻科の成績証明書と併せて、短期大学若しくは高等専門学校の成績証明書も提出してください。
研 究（希 望） 計 画 書	「基盤科学系専攻（数理科学コース）」に志願する者は、本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に記入のうえ提出してください。
検 定 料	30,000円 本研究科所定の払込用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入のうえ最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行で山口大学指定の口座に払い込んだ後、郵便局・ゆうちょ銀行から受け取った振替払込受付証明書（お客さま用）を所定欄に貼り付けてください。 なお、納入された検定料は、10ページ「7. 検定料の返還について」に記載の返還請求できる場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
T O E I C 又 は T O E F L スコアシート	「 <u>基盤科学系専攻（物理学コース・情報科学コース）</u> 」・「 <u>地球圏生命物質科学系専攻（生物学コース・地球科学コース）</u> 」の一般選抜志願者は、TOEIC又はTOEFLのスコアシート及びそのコピーを提出してください。（オリジナルは、確認後返却します。）（公開テスト受験者はデジタル公式認定証でも可） <u>スコアシートは、2022年4月以降に受験したものが有効となります。</u> なお、TOEICについては、TOEIC L&R公開テストのスコアのみ、TOEFLについては、TOEFL iBTが有効です。ただし、大学等において英語カリキュラム制度の一環としてTOEIC又はTOEFLを受験している場合は、大学等におけるTOEIC L&R IPテスト又はTOEFL ITP（団体向けTOEFLテストプログラム）のスコアも有効としますが、 <u>その場合は、TOEIC又はTOEFLを英語カリキュラム制度の一環として取り入れていることが分かるもの（履修の手引きのコピー等）を添付してください。</u> （山口大学在学者または卒業者は、履修の手引きのコピー等を提出する必要はありません。）
あ て 名 票	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入してください。 なお、出願後住所を変更した場合は、速やかに届け出てください。

その他証明書	【出願資格2による出願者】 ・学士の学位を授与された者は、学位授与証明書。 ・学士の学位を授与される見込みの者は、在籍する短期大学長又は高等専門学校長が発行する次の証明書。 ①在籍する専攻科の修了見込証明書 ②学士の学位の授与を申請する予定である旨の証明書（様式任意） 【出願資格5による出願者】 出身学校の長が発行する証明書（本募集要項とじ込み，出願資格5用）
--------	---

※出願書類等は，本研究科入学者選抜において必要なため，提出いただくものです。これによって得た個人情報，個人情報保護に関する法律第18条第3項各号及び第27条第1項各号に規定されている場合を除き，出願者本人の同意を得ることなく他の目的で使用又は第三者に提供することはありません。

3. 出 願 方 法

入学志願者は出願書類等を取りまとめ，「5. 提出先」へ提出してください。

出願書類を郵送する場合は，「特定記録郵便速達」とし，封筒の表に「博士前期課程出願書類在中」と朱書してください。

4. 志 望 方 法

(1) 志望専攻

志望は1専攻1コースに限ります。

ただし，指導教員毎に受け入れ人数に限りがあるため，事前に希望指導教員と相談してください。

(2) 入学志願票の記入について

ア. 志望学系，受験区分，志望専攻・コース及び希望指導教員

山口大学大学院創成科学研究科博士前期課程・修士課程案内（50ページ～）を参照のうえ，志望学系，受験区分，専攻・コース及び希望指導教員名を必ず記入してください。

イ. 受験区分コード

受験区分コードは，11～12ページ「2. 一般選抜受験区分コード」及び「3. 専門科目の内容」を参照し，希望する指導教員と相談のうえ，志願票の受験区分コード欄に記入してください。

5. 提 出 先

山口大学理学部学務係 〒753-8512 山口市吉田1677-1
電話 (083) 933-5215

6. 受験票の送付

手続後，受験票を郵送又は担当窓口で配付します。選抜期日の3日前までに届かない場合は，提出先に問い合わせてください。

7. 検定料の返還について

(1) 次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。

- ①検定料を納入済みであるが山口大学に出願しなかった場合
- ②検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③出願書類等を提出したが出願が受理されなかった場合

(2) 返還請求の方法

上記①又は②に該当した場合は，下記の連絡先に連絡してください。連絡があった後に「検定料払戻請求書」を送付しますので，必要事項を記入のうえ郵送してください。

また，上記③の場合は，出願書類返却の際に「検定料払戻請求書」を同封しますので，必要事項を記入のうえ，下記の連絡先に郵送してください。

連絡先 〒753-8511 山口市吉田1677-1
国立大学法人 山口大学財務部財務課
電話 083 (933) - 5098

Ⅲ 選 抜 方 法 等

学力検査（基盤科学系専攻（数理科学コース）では、課しません。）、面接及び出願書類を総合して判定します。

1. 学 力 検 査 等

専 攻	コ ー ス	学力検査	面 接
基盤科学系専攻	数理科学コース	課さない	面接 ^{※1}
	物理学コース	英語 ^{※2} ，専門科目	
	情報科学コース	英語 ^{※2} ，専門科目 ^{※5}	
地球圏生命物質科学系専攻	生物学コース	英語 ^{※2} ，専門科目	
	化学コース	専門科目 ^{※3}	
	地球科学コース	英語 ^{※2} ， プレゼンテーション ^{※4}	

※1 面接では志望する専攻・コースに関連した学力について、問うことがあります。

※2 基盤科学系専攻（物理学コース・情報科学コース）・地球圏生命物質科学系専攻（生物学コース・地球科学コース）における英語の学力検査は、英語能力テスト（TOEIC又はTOEFL）のスコアにより評価します。筆記試験は行いませんので注意してください。スコアの換算については別表を参照してください。

※3 化学コースの試験では、専門科目の一部を英語で出題します。

※4 地球科学コースの試験では、はじめに卒業論文等の研究内容について、液晶プロジェクターを用いてプレゼンテーションを10分間していただきます（PCは各自用意してください）。引き続き、その内容をふまえた質疑応答・面接を行います。

※5 情報科学コースの試験では、研究分野によって物理学コースの専門科目で受験できる場合があります。出願前に希望する指導教員と相談してください。

別表：TOEICとTOEFLのスコア換算式

TOEICとTOEFLのスコアは、TOEIC 600点TOEFL (iBT) 60点をそれぞれ筆記試験100点満点の80点に換算して評価します。換算式は以下のとおりです。

x：TOEIC又はTOEFLのスコア

y：換算点（100点満点における評価点）

TOEIC			TOEFL		
$y = (2 \div 15) x$ ($0 \leq x \leq 600$)			$y = (4/3) x$ ($0 \leq x \leq 60$)		
$y = (2x + 1920) \div 39$ ($600 \leq x \leq 990$)			$y = (x + 180) \div 3$ ($60 \leq x \leq 120$)		
換算例			換算例		
x	y		x	y	
300	40		30	40	
450	60		45	60	
600	80		60	80	
800	90		90	90	

2. 一般選抜受験区分コード

一般選抜は、志願票に記載された受験区分コードごとの受験となりますので、出願前に希望する指導教員と相談してください。

専攻	コ ー ス	受験区分コード
基盤科学系専攻	数理科学コース	41
	物理学コース	42
	情報科学コース	43（または42）*
地球圏生命物質科学系専攻	生物学コース	44
	化学コース	45
	地球科学コース	46

※基盤科学系専攻情報科学コースの試験では、研究分野によって物理学コースの専門科目（受験区分コード42）で受験できる場合があります。出願前に希望する指導教員と相談してください。

3. 専門科目の内容

受験区分コード	このコードを選択できるコース名	専門科目の内容	備 考
41	数理科学コース	学力検査は課さない。	
42	物理学コース 情報科学コース	力学，電磁気学，量子力学，統計熱力学，物理数学，物理一般から4問選択して解答する。	
43	情報科学コース	基礎数学，応用数学，情報基礎の各分野から出題する。基礎数学分野から出題する2問は必修，応用数学分野と情報基礎分野からは3問出題し，その中から2問を選択して解答する。	
44	生物学コース	生物学の分野から4問を選択して解答する。	
45	化学コース	分析・無機化学，有機化学，物理・量子化学から出題する。	関数電卓*
46	地球科学コース	学力検査において，専門科目は課さない。	

*関数電卓は特殊機能（QRコード活用機能・不等式計算機能・表計算機能・メモリ機能・行列計算機能・ベクトル計算機能・周期表機能・高等統計分布計算等）のないもののみ持参可

4. 選 抜 期 日

ア. 令和7年10月入学

専 攻 名	期 日	試験科目	時 間
基盤科学系専攻 ^{*1} 地球圏生命物質科学系専攻 ^{*1}	令和7年8月6日(水) (予備日) 令和7年8月20日(水)	専門科目	9時30分～12時30分
	令和7年8月7日(木) (予備日) 令和7年8月20日(水)	プレゼンテーション ^{*2} 面 接	9時30分～

- ※1 「基盤科学系専攻（数理科学コース）」は，8月7日（木）の面接のみとします。
「地球圏生命物質科学系専攻（地球科学コース）」は，8月7日（木）のプレゼンテーションと面接のみとします。
- ※2 プレゼンテーションの試験については，「地球圏生命物質科学系専攻（地球科学コース）」のみ行います。

イ. 令和8年4月入学（第1回）

専 攻 名	期 日	試験科目	時 間
基盤科学系専攻 ^{*1} 地球圏生命物質科学系専攻 ^{*1}	令和7年8月6日(水) (予備日) 令和7年8月20日(水)	専門科目	9時30分～12時30分
	令和7年8月7日(木) (予備日) 令和7年8月20日(水)	プレゼンテーション ^{*2} 面 接	9時30分～

- ※1 「基盤科学系専攻（数理科学コース）」は，8月7日（木）の面接のみとします。
「地球圏生命物質科学系専攻（地球科学コース）」は，8月7日（木）のプレゼンテーションと面接のみとします。
- ※2 プレゼンテーションの試験については，「地球圏生命物質科学系専攻（地球科学コース）」のみ行います。

ウ. 令和8年4月入学（第2回）

専攻名	期 日	試験科目	時 間
基盤科学系専攻 ^{*1}	令和7年12月10日(水)	専門科目	9時30分～12時30分
地球圏生命物質科学系専攻 ^{*1}	令和7年12月11日(木)	プレゼンテーション ^{*2} 面 接	9時30分～

※1 「基盤科学系専攻（数理科学コース）」は、12月11日（木）の面接のみとします。
「地球圏生命物質科学系専攻（地球科学コース）」は、12月11日（木）のプレゼンテーションと面接のみとします。

※2 プレゼンテーションの試験については、「地球圏生命物質科学系専攻（地球科学コース）」のみ行います。

5. 試 験 場

山口大学理学部 山口市吉田1677-1
裏表紙の案内図を参照してください。

6. 注 意 事 項

- (1) 受験の際は、受験票を必ず携行してください。
- (2) 試験開始20分前までに試験室に入室してください。
- (3) 受験に際して、机上には受験票、鉛筆、消しゴム、時計（計時機能だけのもの）、関数電卓（持参を指定した受験区分で特殊な機能がないもの）以外のものを置いてはいけません。受験会場には、時計が設置されていません。計時機能だけのものを持参してください。
- (4) 学力検査に不要な携行品は、監督者の指示する場所に置いてください。
また、携帯電話等は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し必ず電源を切ってかばん等に入れておいてください。
- (5) 提出書類については、出願手続後、内容の変更を認めません。
- (6) 入学試験に関する照会は、次をお願いします。

山口大学理学部学務係 電話（083）933-5215

Ⅳ 合 格 発 表

令和7年10月入学	令和7年8月28日(水) 正午予定
令和8年4月入学（第1回）	令和7年8月28日(水) 正午予定
令和8年4月入学（第2回）	令和8年1月5日(月) 正午予定

創成科学研究科ホームページに合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者に合格通知書を郵送します。なお、電話による照会には一切応じません。

●社会人特別選抜

I 出 願 資 格 [] 内は令和7年10月入学者対象

以下の1～9のいずれかの要件を満たし、令和8年3月〔令和7年9月〕末日までに1年以上各種の研究機関、教育機関、企業等に正規の職員として勤務又は勤務見込みの者は、希望により社会人特別選抜に出願することができます。

1. 大学を卒業した者
2. 学校教育法第104条第7項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
5. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
6. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
7. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
8. 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）

（以下の出願資格9により出願を希望する者は、事前審査を受ける必要がありますので、47ページの「出願資格事前審査申請について」を参照してください。）

9. 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和8年3月〔令和7年9月〕末までに22歳に達する者

※出願希望者は、出願前（なるべく早い時期）に、希望する専攻・コースの指導教員に相談すること。

II 出 願 手 続 等

1. 出 願 期 間

令和7年10月入学	令和7年7月11日(金)～7月16日(水) 《17時15分 必着》
令和8年4月入学（第1回）	令和7年7月11日(金)～7月16日(水) 《17時15分 必着》
令和8年4月入学（第2回）	令和7年11月11日(火)～11月13日(木) 《17時15分 必着》

（備考）持参する場合は、上記出願期間中の9時から17時15分まで受け付けます。

2. 出 願 書 類 等

入 学 志 願 票	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入してください。
写 真 票 受 験 票	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入してください。 写真票の所定欄に、出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きの写真（4cm×3cm）をはってください。
卒 業 証 明 書	出身大学長（学部長）が作成したもの。（本学理学部卒業者は提出不要）

成績証明書	出身大学長（学部長）が作成し、厳封したもの。 （本理学部卒業者は提出不要） 専攻科を修了した者は、専攻科の成績証明書と併せて、短期大学若しくは高等専門学校 の成績証明書も提出してください。
研究（希望）計画書	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に記入のうえ提出してください。また、社会での活動状況を記載したもの（以下「業績報告書」という）（様式任意）を提出してください。なお、「業績報告書」には研究論文、技術報告、特許及び 実用新案など具体的な活動状況を示す資料を添付してください。
受験承諾書	勤務先の受験承諾書（本募集要項とじ込み）を提出することが望ましい。
TOEIC 又は TOEFL スコアシート	基盤科学系専攻（物理学コース・情報科学コース）、地球圏生命物質科学系専攻（地球科学コース）の社会人特別選抜志願者は、TOEIC又はTOEFLのスコアシート及びそのコピーを提出してください。（オリジナルは、確認後返却します。）（公開テスト受験者はデジタル公式認定証でも可） スコアシートは、 <u>2022年4月以降に受験したものが有効となります。</u> なお、TOEICについては、TOEIC L&R公開テストのスコアのみ、TOEFLについては、TOEFL iBTが有効です。ただし、大学等において英語カリキュラム制度の一環としてTOEIC又はTOEFLを受験している場合は、大学等におけるTOEIC L&R IPテスト又はTOEFL ITP（団体向けTOEFLテストプログラム）のスコアも有効としますが、 <u>その場合は、TOEIC又はTOEFLを英語カリキュラム制度の一環として取り入れていることが分かるもの（履修の手引きのコピー等）を添付してください。</u>
検 定 料	30,000円 本研究科所定の払込用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入のうえ最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行で山口大学指定の口座に払い込んだ後、郵便局・ゆうちょ銀行から受け取った振替払込受付証明書（お客さま用）を所定欄にはり付けてください。 なお、納入された検定料は、16ページ「7. 検定料の返還について」に記載の返還請求できる場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
あ て 名 票	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入してください。なお、出願後住所を変更した場合は、速やかに届け出てください。
その他証明書	【出願資格2による出願者】 学士の学位を授与された者は、学位授与証明書。 【出願資格7による出願者】 出身学校長が発行する証明書（本募集要項とじ込み、出願資格7用）

※出願書類等については、本研究科入学者選抜において必要なため提出いただくものであり、これによって得た個人情報を、個人情報保護に関する法律第18条第3項各号及び第27条第1項各号に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で使用又は第三者に提供することはありません。

3. 出 願 方 法

入学志願者は出願書類等を取りまとめ、「5. 提出先」へ提出してください。

出願書類を郵送する場合は、「特定記録郵便速達」とし、封筒の表に「博士前期課程出願書類在中」と朱書してください。

4. 志 望 方 法

(1) 志望専攻

志望は1専攻1コースに限ります。

ただし、指導教員毎に受け入れ人数に限りがあるため、事前に希望指導教員と相談してください。

(2) 入学志願票の記入について

ア. 学系、受験区分、志望専攻・コース及び希望指導教員

山口大学大学院創成科学研究科博士前期課程案内（50ページ～）を参照のうえ、志望学系、受験区分、専攻・コース及び希望指導教員名を必ず記入してください。

イ. 受験区分コード

受験者は、希望する指導教員と相談のうえ、11ページの「2. 一般選抜受験区分コード」の中から記入してください。

5. 提出先

山口大学理学部学務係 〒753-8512 山口市吉田1677-1
電話 (083) 933-5215

6. 受験票の送付

手続後、受験票を郵送します。選抜期日の3日前までに届かない場合は、提出先に問い合わせてください。

7. 検定料の返還について

(1) 次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。

- ①検定料を納入済みであるが山口大学に出願しなかった場合
- ②検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③出願書類等を提出したが出願が受理されなかった場合

(2) 返還請求の方法

上記①又は②に該当した場合は、下記の連絡先に連絡してください。連絡があった後に「検定料払戻請求書」を送付しますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

また、上記③の場合は、出願書類返却の際に「検定料払戻請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ、下記の連絡先に郵送してください。

連絡先 〒753-8511 山口市吉田1677-1
国立大学法人 山口大学財務部財務課
電話 083 (933) - 5098

Ⅲ 選 抜 方 法 等

学力検査、口述試験及び出願書類を総合して判定します。

1. 学 力 検 査 等

(1) 学力検査

英語・・・筆記試験は課しません。

注1. 基盤科学系専攻（物理学コース・情報科学コース）、地球圏生命物質科学系専攻（地球科学コース）は、筆記試験は行わず、英語能力テスト（TOEICまたはTOEFL）のスコアにより評価します。換算式については、別表を参照してください。

注2. 基盤科学系専攻（数理科学コース）、地球圏生命物質科学系専攻（生物学コース・化学コース）では、課しません。

別表：換算式

x：TOEIC又はTOEFLのスコア

y：換算点（100点満点における評価点）

TOEIC		TOEFL	
$y = (2 \div 15) x$ ($0 \leq x \leq 600$)		$y = (4/3) x$ ($0 \leq x \leq 60$)	
$y = (2x + 1920) \div 39$ ($600 \leq x \leq 990$)		$y = (x + 180) \div 3$ ($60 \leq x \leq 120$)	
換算例		換算例	
x	y	x	y
300	40	30	40
450	60	45	60
600	80	60	80
800	90	90	90

(2) 口述試験

志望する専攻の専門科目、業績報告書及び研究（希望）計画書の内容について口述試験を行います。

2. 受験区分コード

社会人特別選抜は、受験票に記載された受験区分コードでの受験となります。

3. 選 抜 期 日

ア. 令和7年10月入学

専 攻 名	期 日	試験科目	時 間
基盤科学系専攻 地球圏生命物質科学系専攻	令和7年8月7日(木) (予備日) 令和7年8月20日(水)	口述試験	9時30分～

イ. 令和8年4月入学（第1回）

専 攻 名	期 日	試験科目	時 間
基盤科学系専攻 地球圏生命物質科学系専攻	令和7年8月7日(木) (予備日) 令和7年8月20日(水)	口述試験	9時30分～

ウ. 令和8年4月入学（第2回）

専 攻 名	期 日	試験科目	時 間
基盤科学系専攻 地球圏生命物質科学系専攻	令和7年12月11日(木)	口述試験	9時30分～

4. 試 験 場

山口大学理学部 山口市吉田1677-1

裏表紙の案内図を参照してください。

5. 注 意 事 項

- (1) 受験の際は、受験票を必ず携行してください。
- (2) 試験開始20分前までに試験室に入室してください。
- (3) 受験に際して、机上には受験票、鉛筆、消しゴム、時計（計時機能だけのもの）以外のものを置いてはいけません。
受験会場には、時計が設置されていません。計時機能だけのものを持参してください。
- (4) 学力検査に不要な携行品は、監督者の指示する場所に置いてください。
また、携帯電話等は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し必ず電源を切ってかばん等に入れておいてください。
- (5) 提出書類については、出願手続後、内容の変更を認めません。
- (6) 入学試験に関する照会は、次をお願いします。

山口大学理学部学務係 電話（083）933-5215

IV 合 格 発 表

令和7年10月入学	令和7年8月28日(水) 正午予定
令和8年4月入学（第1回）	令和7年8月28日(水) 正午予定
令和8年4月入学（第2回）	令和8年1月5日(月) 正午予定

創成科学研究科ホームページに合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者に合格通知書を郵送します。なお、電話による照会には一切応じません。

工 学 系

- 口述試験による選抜
- 一般選抜
- 社会人特別選抜

選抜試験の実施時期

機械工学系専攻，建設環境系専攻，化学系専攻，電気電子情報系専攻（常盤キャンパス）

A. 口述試験による選抜

令和8年4月入学のみ

区 分	日 程 等
事前審査書類提出期間	令和7年6月10日(火)～6月13日(金)
事前審査結果通知	令和7年6月27日(金)
出 願 期 間	令和7年7月9日(水)～7月11日(金)
選 抜 期 日	令和7年8月6日(水) (予備日) 令和7年8月20日(水)
合 格 発 表	令和7年8月28日(木) 正午予定
入 学 手 続	令和8年2月26日(木)～3月2日(月)

※口述試験による選抜は，必ず事前審査書類提出期間に所定の書類を提出してください。事前審査書類提出期間に所定の書類を提出しなかった場合は，口述試験による選抜には出願できません。

B. 一般選抜及び社会人特別選抜

(1) 令和7年10月入学

区 分	日 程 等
出 願 期 間	令和7年6月23日(月)～6月26日(木)
選 抜 期 日	令和7年8月6日(水) (予備日) 令和7年8月20日(水)
合 格 発 表	令和7年8月28日(木) 正午予定
入 学 手 続	令和7年9月1日(月)～9月3日(水)

(2) 令和8年4月入学（第1回）

区 分	日 程 等
出 願 期 間	令和7年7月1日(火)～7月4日(金)
選 抜 期 日	令和7年8月6日(水) (予備日) 令和7年8月20日(水)
合 格 発 表	令和7年8月28日(木) 正午予定
入 学 手 続	令和8年2月26日(木)～3月2日(月)

(3) 令和8年4月入学（第2回）

区 分	日 程 等
出 願 期 間	令和7年11月4日(火)～11月7日(金)
選 抜 期 日	令和7年12月5日(金)
合 格 発 表	令和8年1月15日(木) 正午予定
入 学 手 続	令和8年2月26日(木)～3月2日(月)

※地震等の災害，台風の接近に伴う公共交通機関の乱れ及び計画運休等により，試験が実施できない場合は，予備日に試験を実施することがあります。その場合は，試験前日までに本研究科ホームページにて通知します。

●口述試験による選抜

口述試験による選抜は、[工学系]においてのみ、実施します。出願者は、前出の入試スケジュールを基に、事前審査書類提出期間前に必ず希望する専攻・コースの指導教員に相談のうえ、出願の承諾を得てください。

また、口述試験による選抜では、出願資格事前審査を行います。必ず事前審査書類提出期間内に、所定の書類を提出してください。出願資格事前審査を受けていない出願希望者は、口述試験による選抜に出願することはできません。

I 出 願 資 格

下記のア又はイの者で、学業成績・人物ともに優れ、出願資格事前審査で成績優秀と認められた者で、合格した場合、入学を確約できる者。

- ア. 令和8年3月までに大学を卒業見込みの者または卒業した者
- イ. 修業年限2年の短期大学に置かれた修業年限2年の専攻科、修業年限3年の短期大学に置かれた修業年限1年の専攻科、高等専門学校に置かれた修業年限2年の専攻科のいずれかであって、学位規則第6第1項の規定に基づき大学改革支援・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定された専攻科を令和8年3月までに修了見込みの者で、令和8年3月までに学士の学位の授与を受けようとする者、または修了した者で学士の学位を授与された者

なお、学業成績が優れた者の基準は以下のとおりです。

【学業成績が優れた者の基準】

(大学を卒業見込みの者または卒業した者)

所属学科内での専門科目の成績順位が上位2/5以内の者または専門科目の優以上（点数評価にして80点相当以上）の成績評価が修得単位数の2/5以上の者

(専攻科修了見込みの者または修了した者)

短期大学または高等専門学校の専門科目及び専攻科の専門科目の優以上（点数評価にして80点相当以上）の成績評価が修得単位数の2/5以上の者

Ⅱ 出願資格事前審査

1. 事前審査書類提出期間

専攻名	提出期間
機械工学系専攻 建設環境系専攻 化学系専攻 電気電子情報系専攻	令和7年6月10日（火）～6月13日（金） 《17時15分 必着》

※上記提出期間中に持参する場合は、9時から17時15分まで受け付けます。

2. 事前審査提出書類

口述試験 事前審査申請書	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に必要事項を記入してください。
卒業（修了）証明書 または 卒業（修了）見込証明書	出身大学長（学部長）が作成したもの。 （本学工学部卒業（見込み）者は不要）
成績証明書	出身大学長（学部長）が作成し、厳封したもの。 （本学工学部卒業（見込み）者は不要） なお、所属学科内での、専門科目の成績順位が上位2/5以内により出願する者は、成績順位が分かるものを合わせて提出してください。また、専攻科修了見込みの者または修了した者は、短期大学若しくは高等専門学校の場合は成績証明書も提出してください。
返信用封筒	長形3号に本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、110円切手を貼ったもの。（本学工学部卒業見込み者以外で結果通知を郵送で受け取りたい者のみ。「3. 提出先」で受け取る者は不要。）
その他証明書	【出願資格により出願する者】 ・学士の学位を授与された者は学位授与証明書 ・学士の学位を授与される見込みの者は、在籍する短期大学長または高等専門学校長が発行する次の証明書。 1 在籍する専攻科の修了見込証明書 2 学士の学位の授与を申請する予定である旨の証明書（様式任意）

※事前審査提出書類については、本研究科入学者選抜において必要なためご提出いただくものであり、これによって得た個人情報を、個人情報保護に関する法律第18条第3項各号及び第27条第1項各号に規定されている場合を除き、申請者本人の同意を得ることなく他の目的で使用又は第三者に提供することはありません。

3. 提出先

山口大学工学部学務課入試係 〒755-8611 宇部市常盤台2丁目16-1
電話（0836）85-9012

4. 結果通知

専攻名	結果通知期日
機械工学系専攻 建設環境系専攻 化学系専攻 電気電子情報系専攻	令和7年6月27日（金）

※事前審査で口述試験による選抜への出願が認められた者は、Ⅲ 出願手続等を参照のうえ、出願期間内に手続を行うようにしてください。

事前審査で口述試験による選抜への出願が認められなかった者は、「一般選抜」での出願となります。

Ⅲ 出 願 手 続 等

1. 出 願 期 間

専 攻 名	提 出 期 間
機械工学系専攻 建設環境系専攻 化学系専攻 電気電子情報系専攻	令和7年7月9日（水）～7月11日（金） 《17時15分 必着》

※持参する場合は、上記出願期間中の9時から17時15分まで受け付けます。

2. 出 願 書 類 等

入 学 志 願 票	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入してください。
写 真 票 受 験 票	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入してください。 写真票の所定欄に、出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きの写真（4cm×3cm）を貼ってください。
事前審査結果通知書	口述試験事前審査結果が記載されている通知書のコピーを提出してください。
検 定 料	30,000円 本研究科所定の払込用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入のうえ最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行で山口大学指定の口座に払い込んだ後、郵便局・ゆうちょ銀行から受け取った振替払込受付証明書（お客さま用）を所定欄に貼り付けてください。 なお、納入された検定料は、22ページ「7. 検定料の返還について」に記載の返還請求できる場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
あ て 名 票	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入してください。 なお、出願後住所を変更した場合は、速やかに届け出てください。
そ の 他 証 明 書	【日本国籍を有しない者】 旅券または在留資格を証明する書類の写しを提出してください。

※出願書類等については、本研究科入学者選抜において必要なためご提出いただくものであり、これによって得た個人情報、個人情報保護に関する法律第18条第3項各号及び第27条第1項各号に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で使用又は第三者に提供することはありません。

3. 出 願 方 法

入学志願者は出願書類等を取りまとめ、「5. 提出先」へ提出してください。

出願書類を郵送する場合は、「特定記録郵便速達」とし、封筒の表に「博士前期課程 出願書類在中」と朱書してください。

4. 志 望 方 法

(1) 志望専攻及びコース

志望は1専攻1コースに限ります。

ただし、指導教員毎に受け入れ人数に限りがあるため、事前に希望指導教員と相談のうえ出願の承諾を得てください。

(2) 入学志願票の記入について

ア. 志望学系・受験区分、志望専攻・コース及び希望指導教員

山口大学大学院創成科学研究科博士前期課程案内（50ページ～）を参照のうえ、志望学系・受験区分、志望専攻・コース及び希望指導教員名を必ず記入してください。

イ. 受験区分コード

受験者は、希望する指導教員と相談のうえ、27ページの「2. 一般選抜受験区分コード」の中から記入してください。

5. 提 出 先

山口大学工学部学務課入試係

〒755-8611 宇部市常盤台2丁目16-1
電話（0836）85-9012

6. 受験票の送付

手続後、受験票を郵送します。選抜期日の3日前までに届かない場合は、提出先に問い合わせてください。

7. 検定料の返還について

- (1) 次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。
 - ①検定料を納入済みであるが山口大学に出願しなかった場合
 - ②検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
 - ③出願書類等を提出したが出願が受理されなかった場合
- (2) 返還請求の方法

上記①又は②に該当した場合は、下記の連絡先に連絡してください。連絡があった後に「検定料払戻請求書」を送付しますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

また、上記③の場合は、出願書類返却の際に「検定料払戻請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ、下記の連絡先に郵送してください。

連絡先	〒753-8511 山口市吉田1677-1 国立大学法人 山口大学財務部財務課 電話 083(933)-5098
-----	--

IV 選 抜 方 法 等

口述試験及び出願書類を総合して判定します。

1. 口述試験による選抜の受験区分

口述試験による選抜は、受験票に記載された受験区分コードごとの受験となります。
(受験区分コードについては、27ページを参照してください。)

2. 選 抜 期 日

専 攻 名	期 日	試験科目	時 間
機械工学系専攻 建設環境系専攻 化学系専攻 電気電子情報系専攻	令和7年8月6日(水) (予備日) 令和7年8月20日(水)	口述試験	9時00分～

3. 試 験 場

山口大学工学部 宇部市常盤台2丁目16-1
裏表紙の案内図を参照してください。

4. 注 意 事 項

- (1) 受験の際は、受験票を必ず携行してください。
- (2) 携帯電話等は、試験控室に入る前にアラームの設定を解除し必ず電源を切ってかばん等に入れておいてください。
- (3) 提出書類については、出願手続後、内容の変更を認めません。
- (4) 入学試験に関する照会は、次をお願いします。

山口大学工学部学務課入試係 電話 (0836) 85-9012

V 合 格 発 表

令和7年8月28日(木) 正午予定

創成科学研究科ホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を郵送します。なお、電話による照会には一切応じません。

●一般選抜

I 出願資格 []内は令和7年10月入学者対象

1. 大学を卒業した者及び令和8年3月〔令和7年9月〕までに卒業見込みの者
2. 学校教育法第104条第7項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和8年3月〔令和7年9月〕までに授与見込みの者
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和8年3月〔令和7年9月〕までに修了見込みの者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和8年3月〔令和7年9月〕までに修了見込みの者
5. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者又は令和8年3月〔令和7年9月〕までに修了見込みの者
6. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和8年3月〔令和7年9月〕までに修了見込みの者
7. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和8年3月〔令和7年9月〕までに授与見込みの者
8. 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）

（以下の出願資格9、10及び11により出願を希望する者は、事前審査を受ける必要がありますので、47ページの「出願資格事前審査申請について」を参照してください。）

9. 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
10. 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月〔令和7年9月〕末までに22歳に達する者
11. 令和8年3月〔令和7年9月〕末日で次のいずれかに該当する者で、所定の単位を優れた成績で修得したと本研究科において認めた者
 - (1) 大学に3年以上在学した者
 - (2) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
 - (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

※出願希望者は、出願前（なるべく早い時期）に希望する専攻・コースの指導教員に相談すること。

Ⅱ 出 願 手 続 等

1. 出 願 期 間

令和7年10月入学	令和7年6月23日（月）～6月26日（木）《17時15分 必着》
令和8年4月入学（第1回）	令和7年7月1日（火）～7月4日（金）《17時15分 必着》
令和8年4月入学（第2回）	令和7年11月4日（火）～11月7日（金）《17時15分 必着》

（備 考）持参する場合は、上記出願期間中の9時から17時15分まで受け付けます。

2. 出 願 書 類 等

入 学 志 願 票	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入してください。
写 真 票	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入してください。写真票の所定欄に、出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きの写真（4cm×3cm）を貼ってください。
卒 業（見 込） 証 明 書	出身大学長（学部長）が作成したもの。（本学工学部卒業（見込み）者は不要）
成 績 証 明 書	出身大学長（学部長）が作成し、厳封したもの。（本学工学部卒業（見込み）者は不要） 専攻科修了見込み者または修了した者は、専攻科の成績証明書と併せて、短期大学若しくは高等専門学校の成績証明書も提出してください。
検 定 料	30,000円 本研究科所定の払込用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入のうえ最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行で山口大学指定の口座に払い込んだ後、郵便局・ゆうちょ銀行から受け取った振替払込受付証明書（お客さま用）を所定欄に貼り付けてください。 なお、納入された検定料は、25ページ「7. 検定料の返還について」に記載の返還請求できる場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
T O E I C 又 は T O E F L スコアシート	TOEIC又はTOEFLのスコアシート（オリジナル）を提出してください。オリジナルは、確認後返却します。（TOEIC L&R公開テストの受験者はデジタル公式認定証を印刷したものでも可） <u>スコアシートは、2022年4月以降に受験したものが有効となります。</u> なお、TOEICについては、TOEIC L&R公開テストのスコアのみ、TOEFLについては、TOEFL iBTのスコアのみが有効です。ただし、大学等において英語カリキュラム制度の一環としてTOEIC又はTOEFLを受験している場合は、大学等におけるTOEIC L&R IPテスト又はTOEFL ITP（団体向けTOEFLテストプログラム）のスコアも有効としますが、その場合は、TOEIC又はTOEFLを英語カリキュラム制度の一環として取り入れていることが分かるもの（履修の手引のコピー等）を添付してください。（山口大学在学者は、履修の手引のコピー等の提出は必要ありません。）
工 学 系 数 学 統 一 試 験 の 成 績	学力検査において、工学系数学統一試験を選択した受験者は、成績票及びそのコピーを提出してください。（オリジナルは、確認後返却します。）なお、工学系数学統一試験の成績は、2023年度及び2024年度に受験した成績が有効となります。
あ て 名 票	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入してください。 なお、出願後住所を変更した場合は、速やかに届け出てください。
その他証明書	【出願資格2による出願者】 ・学士の学位を授与された者は、学位授与証明書。 ・学士の学位を授与される見込みの者は、在籍する短期大学長又は高等専門学校長が発行する次の証明書。 ①在籍する専攻科の修了見込証明書 ②学士の学位の授与を申請する予定である旨の証明書（様式任意） 【出願資格5による出願者】 出身学校の長が発行する証明書（本募集要項とじ込み、出願資格5用） 【機械工学系専攻の一般選抜に志願する者】 応用数学科目免除（数検1級合格）を願い出る者は、その証明となるものを提出してください。 【日本国籍を有しない者】 旅券又は在留資格を証明する書類の写しを提出してください。

※出願書類等は、本研究科入学者選抜において必要なため、提出いただくものです。これによって得た個人情報、個人情報保護に関する法律第18条第3項各号及び第27条第1項各号に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で使用又は第三者に提供することはありません。

3. 出 願 方 法

入学志願者は出願書類等を取りまとめ、「5. 提出先」へ提出してください。

出願書類を郵送する場合は、「特定記録郵便速達」とし、封筒の表に「博士前期課程・修士課程 出願書類在中」と朱書してください。

4. 志 望 方 法

(1) 志望専攻

志望は1専攻1コースに限ります。

ただし、指導教員毎に受け入れ人数に限りがあるため、事前に希望指導教員と相談してください。

(2) 入学志願票の記入について

ア. 志望学系、受験区分、志望専攻・コース及び希望指導教員

山口大学大学院創成科学研究科博士前期課程・修士課程案内(50ページ)を参照のうえ、志望学系、受験区分、専攻・コース及び希望指導教員名を必ず記入してください。

イ. 受験区分コード

受験区分コードは、27～28ページ「2. 一般選抜受験区分コード」及び「3. 専門科目の内容」を参照し、希望する指導教員と相談のうえ、志願票の受験区分コード欄に記入してください。

5. 提 出 先

山口大学工学部学務課入試係 〒755-8611 宇部市常盤台2丁目16-1
電話 (0836) 85-9012

6. 受験票の送付

手続後、受験票を郵送します。選抜期日の3日前までに届かない場合は、提出先に問い合わせてください。

7. 検定料の返還について

(1) 次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。

- ①検定料を納入済みであるが山口大学に出願しなかった場合
- ②検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③出願書類等を提出したが出願が受理されなかった場合

(2) 返還請求の方法

上記①又は②に該当した場合は、下記の連絡先に連絡してください。連絡があった後に「検定料払戻請求書」を送付しますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

また、上記③の場合は、出願書類返却の際に「検定料払戻請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ、下記の連絡先に郵送してください。

連絡先 〒753-8511 山口市吉田1677-1
国立大学法人 山口大学財務部財務課
電話 083(933)-5098

Ⅲ 選 抜 方 法 等

学力検査及び出願書類（学業成績）を総合して判定します。

1. 学 力 検 査 等

専 攻	コース	学力検査
機械工学系専攻 ^{※3}	応用医工学コース	英語 ^{※1} 応用数学 ^{※2} 専門科目
	航空宇宙エネルギーコース	
	メカノシステムデザインコース	
建設環境系専攻	社会建設工学コース	
	国際建設技術コース	英語 ^{※1} 応用数学 ^{※2} 専門科目（口頭試問） ^{※4}
	環境システム工学コース	
	建築学コース	
化学系専攻	物質化学コース	英語 ^{※1} 応用数学 ^{※2} 専門科目
	生命化学コース	
	環境化学・化学工学コース	
電気電子情報系専攻	電子デバイス工学コース	
	電子システム工学コース	英語 ^{※1} 応用数学 ^{※2} 専門科目
	知能情報メディア工学コース	
	情報システム工学コース	

※1 工学系における英語の学力検査は、英語能力テスト（TOEIC又はTOEFL）のスコアにより評価します。筆記試験は行いませんので注意してください。スコアの換算については別表1を参照してください。

※2 工学系における応用数学の学力検査は、筆記試験または工学系数学統一試験の成績による評価のいずれかを選択することができます。

(1) 筆記試験について

出題分野

必修分野：「微分積分」・「線形代数」

選択分野：「常微分方程式」・「確率・統計」から1分野選択

工学系数学統一試験に準じた形式で出題します。

(2) 工学系数学統一試験の成績による評価について

工学系数学統一試験の出題分野4分野のうち3分野の合計得点を別表2の換算式により、応用数学の得点として評価します。

必修分野：「微分積分」・「線形代数」

選択分野：「常微分方程式」・「確率・統計」から1分野選択

出願の際は、別表2の換算式を参照のうえ選択分野を志願票へ記入してください。

工学系数学統一試験については次のHPを参照してください。

<http://www.aemat.jp/exam/>

※3 機械工学系専攻志願者で数検1級合格者は応用数学の学力検査を免除します。

※4 化学系専攻の物質化学コース及び生命化学コースの専門科目は、口頭試問により学力を問います。

別表1：TOEICとTOEFLのスコア換算式

TOEICとTOEFLのスコアは、TOEIC 600点とTOEFL (iBT) 60点をそれぞれ筆記試験100点満点の80点に換算して評価します。換算式は以下のとおりです。

x：TOEIC又はTOEFLのスコア

y：換算点（100点満点における評価点）

TOEIC		TOEFL	
$y = (2 / 15)x$ ($0 \leq x \leq 600$)		$y = (4/3)x$ ($0 \leq x \leq 60$)	
$y = (2x + 1920) / 39$ ($600 \leq x \leq 990$)		$y = (x + 180) / 3$ ($60 \leq x \leq 120$)	
換算例		換算例	
x	y	x	y
300	40	30	40
450	60	45	60
600	80	60	80
800	90	90	90

別表2：工学系数学統一試験の換算式

工学系数学統一試験の3分野（「微分積分」「線形代数」の必修2分野と「常微分方程式」または「確率・統計」の選択1分野を合わせた3分野）の合計得点（300点満点）を応用数学（100点満点）に換算して評価します。換算式は以下のとおりです。

x：工学系数学統一試験3分野の合計得点

A：工学系数学統一試験3分野の山口大学受験者の平均点

・2023年度：「常微分方程式」を選択した場合 A = 140

「確率・統計」を選択した場合 A = 135

・2024年度：「常微分方程式」を選択した場合 A = 113

「確率・統計」を選択した場合 A = 110

y：換算点（100点満点における評価点）

$$y = (60/A)x,$$

ただし、y=100を上限とする。

2. 一般選抜受験区分コード

一般選抜は、志願票に記載された受験区分コードごとの受験となりますので、出願前に希望する指導教員と相談してください。

専攻	コース	受験区分コード
機械工学系専攻	応用医工学コース	55
	航空宇宙エネルギーコース	55
	メカノシステムデザインコース	55
建設環境系専攻	社会建設工学コース	56
	国際建設技術コース	56
	環境システム工学コース	52
	建築学コース	57
化学系専攻	物質化学コース	51
	生命化学コース	51
	環境化学・化学工学コース	52
電気電子情報系専攻	電子デバイス工学コース	53
	電子システム工学コース	53
	知能情報メディア工学コース	54
	情報システム工学コース	54

3. 専門科目の内容

専攻名	コース名	専門科目の内容		備 考
機械工学系 専攻	応用医工学コース	機械力学及び制御工学 (古典)、水力学、熱力学、 材料力学	4 分野必修	関数電卓＊
	航空宇宙エネルギーコース			関数電卓＊
	メカノシステムデザインコース			関数電卓＊
建設環境系 専攻	社会建設工学コース	構造力学、土質力学、水 理学	3 分野必修	関数電卓＊
	国際建設技術コース			関数電卓＊
	環境システム工学コース	物理化学、有機化学、化 学工学（移動現象・単位 操作）、環境浄化技術	4分野の中から 試験時2分野 選択	関数電卓＊
	建築学コース	建築構造系、建築環境系、 建築計画系	3 分野必修	関数電卓＊
化学系専攻	物質化学コース	領域A：物理化学、無機 化学、化学工学 領域B：有機化学、高分 子化学、生物化学	2 領域のうち 出願時に1 領域 選択	出願時に選択 した領域につ いて口頭試問 で学力を問う。
	生命化学コース			
	環境化学・化学工学コース	物理化学、有機化学、化 学工学（移動現象・単位 操作）、環境浄化技術	4 分野の中から 試験時2 分野 選択	関数電卓＊
電気電子 情報系専攻	電子デバイス工学コース	電磁気学、電気回路	2 分野必修	
	電子システム工学コース			
	知能情報メディア工学コース	データ構造とアルゴリズ ム、プログラミング（C 言語）、計算機アーキテ クチャ（ブール代数、論 理設計、論理回路、電子 計算機を含む。）	3 分野必修	
	情報システム工学コース			

*使用可能な機能(四則演算、三角関数、指数関数、対数、平方根)以外を使用した場合は不正行為となります。

4. 選 抜 期 日

ア. 令和7年10月入学

専攻名	期 日	試験科目	時 間
機械工学系専攻	令和7年8月6日(水) (予備日) 令和7年8月20日(水)	応用数学 専門科目	10時30分～12時00分 13時00分～16時00分
建設環境系専攻			
化学系専攻 環境化学・化学工学コース			
電気電子情報系専攻			

専攻名	期 日	試験科目	時 間
化学系専攻 物質化学コース 生命化学コース	令和7年8月6日(水) (予備日) 令和7年8月20日(水)	応用数学 専門科目 (口頭試問)	10時30分～12時00分 13時00分～

イ. 令和8年4月入学（第1回）

専攻名	期 日	試験科目	時 間
機械工学系専攻	令和7年8月6日(水) (予備日) 令和7年8月20日(水)	応用数学 専門科目	10時30分～12時00分 13時00分～16時00分
建設環境系専攻			
化学系専攻 環境化学・化学工学コース			
電気電子情報系専攻			

専攻名	期 日	試験科目	時 間
化学系専攻 物質化学コース 生命化学コース	令和7年8月6日(水) (予備日) 令和7年8月20日(水)	応用数学 専門科目 (口頭試問)	10時30分～12時00分 13時00分～

ウ. 令和8年4月入学（第2回）

専攻名	期 日	試験科目	時 間
機械工学系専攻	令和7年12月5日(金)	応用数学 専門科目	10時30分～12時00分 13時00分～16時00分
建設環境系専攻			
化学系専攻 環境化学・化学工学コース			
電気電子情報系専攻			

専攻名	期 日	試験科目	時 間
化学系専攻 物質化学コース 生命化学コース	令和7年12月5日(金)	応用数学 専門科目 (口頭試問)	10時30分～12時00分 13時00分～

5. 試 験 場

山口大学工学部 宇部市常盤台2丁目16-1

裏表紙の案内図を参照してください。

6. 注 意 事 項

- (1) 受験の際は、受験票を必ず携行してください。
- (2) 試験開始20分前までに試験室に入室してください。
- (3) 受験に際して、机上には受験票、鉛筆、消しゴム、時計（計時機能だけのもの）、関数電卓（持参を指定した受験区分のみ）以外のものを置いてはいけません。
受験会場には、時計が設置されていません。計時機能だけのものを持参してください。
- (4) 学力検査に不要な携行品は、監督者の指示する場所に置いてください。
また、携帯電話等は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し必ず電源を切ってかばん等に入れておいてください。
- (5) 提出書類については、出願手続後、内容の変更を認めません。
- (6) 応用数学を筆記試験で受験する場合、関数電卓の使用はできません。
- (7) 入学試験に関する照会は、次をお願いします。

山口大学工学部学務課入試係 電話（0836）85-9012

Ⅳ 合 格 発 表

令和7年10月入学	令和7年8月28日(木) 正午予定
令和8年4月入学(第1回)	令和7年8月28日(木) 正午予定
令和8年4月入学(第2回)	令和8年1月15日(木) 正午予定

創成科学研究科ホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を郵送します。なお、電話による照会には一切応じません。

●社会人特別選抜

I 出 願 資 格 [] 内は令和7年10月入学者対象

以下の1～9のいずれかの要件を満たし、令和8年3月〔令和7年9月〕末日までに1年以上各種の研究機関、教育機関、企業等に正規の職員として勤務又は勤務見込みの者は、希望により社会人特別選抜に出願することができます。

1. 大学を卒業した者
2. 学校教育法第104条第7項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
5. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
6. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
7. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
8. 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）

（以下の出願資格9により出願を希望する者は、事前審査を受ける必要がありますので、47ページの「出願資格事前審査申請について」を参照してください。）

9. 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和8年3月〔令和7年9月〕末までに22歳に達する者

※出願希望者は、出願前（なるべく早い時期）に希望する専攻・コースの指導教員に相談すること。

II 出 願 手 続 等

1. 出 願 期 間

令和7年10月入学	令和7年6月23日(月)～6月26日(木) 《17時15分 必着》
令和8年4月入学（第1回）	令和7年7月1日(火)～7月4日(金) 《17時15分 必着》
令和8年4月入学（第2回）	令和7年11月4日(火)～11月7日(金) 《17時15分 必着》

（備 考）持参する場合は、上記出願期間中の9時から17時15分まで受け付けます。

2. 出 願 書 類 等

入 学 志 願 票	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入してください。
写 真 票 受 験 票	研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入してください。写真票の所定欄に、出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きの写真（4cm×3cm）を貼ってください。
卒 業 証 明 書	出身大学長（学部長）が作成したもの。（本学工学部卒業者は不要）

成績証明書	出身大学長（学部長）が作成し、厳封したもの。（本学工学部卒業者は不要） 専攻科を修了した者は、専攻科の成績証明書と併せて、短期大学若しくは高等専門学校 の成績証明書も提出してください。
研究（希望） 計画書	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に記入のうえ提出してください。また、 社会での活動状況を記載したもの（以下「業績報告書」という）（様式任意）を提出 してください。なお、「業績報告書」には研究論文、技術報告、特許及び 実用新案など具体的な活動状況を示す資料を添付してください。
受験承諾書	勤務先の受験承諾書（本募集要項とじ込み）を提出することが望ましい。
検定料	30,000円 本研究科所定の払込用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入のうえ最寄 りの郵便局・ゆうちょ銀行で山口大学指定の口座に払い込んだ後、郵便局・ゆう ちょ銀行から受け取った振替払込受付証明書（お客さま用）を所定欄に貼り付け てください。 なお、納入された検定料は、33ページ「7. 検定料の返還について」に記載の返 還請求できる場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
あて名票	本研究科所定の用紙（本募集要項とじ込み）に、必要事項を記入してください。 なお、出願後住所を変更した場合は、速やかに届け出てください。
その他証明書	【出願資格2による出願者】 学士の学位を授与された者は、学位授与証明書。 【出願資格7による出願者】 出身学校長が発行する証明書（本募集要項とじ込み、出願資格7用）

※出願書類等については、本研究科入学選抜において必要なため提出いただくものであり、これによって得た個人情報を、個人情報保護に関する法律第18条第3項各号及び第27条第1項各号に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で使用又は第三者に提供することはありません。

3. 出 願 方 法

入学志願者は出願書類等を取りまとめ、「5. 提出先」へ提出してください。

出願書類を郵送する場合は、「特定記録郵便速達」とし、封筒の表に「博士前期課程出願書類在中」と朱書してください。

4. 志 望 方 法

(1) 志望専攻

志望は1専攻1コースに限ります。

ただし、指導教員毎に受け入れ人数に限りがあるため、事前に希望指導教員と相談してください。

(2) 入学志願票の記入について

ア. 学系、受験区分、志望専攻・コース及び希望指導教員

山口大学大学院創成科学研究科博士前期課程案内（50ページ～）を参照のうえ、志望学系、
受験区分、専攻・コース及び希望指導教員名を必ず記入してください。

イ. 受験区分コード

受験者は、希望する指導教員と相談のうえ、27ページの「2. 一般選抜受験区分コード」
の中から記入してください。

5. 提 出 先

山口大学工学部学務課入試係 〒755-8611 宇部市常盤台2丁目16-1
電話（0836）85-9012

6. 受験票の送付

手続後、受験票を郵送します。選抜期日の3日前までに届かない場合は、提出先に問い合わせてください。

7. 検定料の返還について

(1) 次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。

- ①検定料を納入済みであるが山口大学に出願しなかった場合
- ②検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③出願書類等を提出したが出願が受理されなかった場合

(2) 返還請求の方法

上記①又は②に該当した場合は、下記の連絡先に連絡してください。連絡があった後に「検定料払戻請求書」を送付しますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

また、上記③の場合は、出願書類返却の際に「検定料払戻請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ、下記の連絡先に郵送してください。

連絡先 〒753-8511 山口市吉田1677-1
 国立大学法人 山口大学財務部財務課
 電話 083(933)-5098

Ⅲ 選 抜 方 法 等

口述試験及び出願書類（学業成績）を総合して判定します。

1. 口述試験

英語能力、志望する専攻の専門科目、業績報告書及び研究（希望）計画書の内容について口述試験を行います。

2. 受験区分コード

社会人特別選抜は、受験票に記載された受験区分コードごとの受験となります。
 （受験区分コードについては27ページを参照してください。）

3. 選 抜 期 日

ア. 令和7年10月入学

専 攻 名	期 日	試験科目	時 間
機械工学系専攻 建設環境系専攻 化学系専攻 電気電子情報系専攻	令和7年8月6日(水) (予備日) 令和7年8月20日(水)	口述試験	16時15分～

イ. 令和8年4月入学（第1回）

専 攻 名	期 日	試験科目	時 間
機械工学系専攻 建設環境系専攻 化学系専攻 電気電子情報系専攻	令和7年8月6日(水) (予備日) 令和7年8月20日(水)	口述試験	16時15分～

ウ. 令和8年4月入学（第2回）

専 攻 名	期 日	試験科目	時 間
機械工学系専攻 建設環境系専攻 化学系専攻 電気電子情報系専攻	令和7年12月5日(金)	口述試験	16時15分～

4. 試 験 場

山口大学工学部 宇部市常盤台2丁目16-1

裏表紙の案内図を参照してください。

5. 注 意 事 項

- (1) 受験の際は、受験票を必ず携行してください。
- (2) 試験開始20分前までに試験室に入室してください。
- (3) 受験に際して、机上には受験票、鉛筆、消しゴム、時計（計時機能だけのもの）以外のものを置いてはいけません。
受験会場には、時計が設置されていません。計時機能だけのものを持参してください。
- (4) 口述試験に不要な携行品は、監督者の指示する場所に置いてください。
また、携帯電話等は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し必ず電源を切ってかばん等に入れておいてください。
- (5) 提出書類については、出願手続後、内容の変更を認めません。
- (6) 入学試験に関する照会は、次をお願いします。

山口大学工学部学務課入試係 電話（0836）85-9012

Ⅳ 合 格 発 表

令和7年10月入学	令和7年8月28日(木) 正午予定
令和8年4月入学（第1回）	令和7年8月28日(木) 正午予定
令和8年4月入学（第2回）	令和8年1月15日(木) 正午予定

創成科学研究科ホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を郵送します。なお、電話による照会には一切応じません。

農 学 系

- 一般選拔

選抜試験の実施時期

農学系専攻，山口大学・カセサート大学国際連携農学生命科学専攻（吉田キャンパス）

一般選抜

(1) 令和7年10月入学

区 分	日 程 等
出 願 期 間	令和7年6月23日(月)～6月27日(金)
選 抜 期 日	令和7年7月31日(木) (予備日) 令和7年8月6日(水)
合 格 発 表	令和7年8月25日(月) 正午予定
入 学 手 続	令和7年9月1日(月)～9月3日(水)

(2) 令和8年4月入学（第1回）

区 分	日 程 等
出 願 期 間	令和7年6月23日(月)～6月27日(金)
選 抜 期 日	令和7年7月31日(木) (予備日) 令和7年8月6日(水)
合 格 発 表	令和7年8月25日(月) 正午予定
入 学 手 続	令和8年2月26日(木)～3月2日(月)

(3) 令和8年4月入学（第2回）

区 分	日 程 等
出 願 期 間	令和7年12月9日(火)～12月11日(木)
選 抜 期 日	令和8年1月15日(木)
合 格 発 表	令和8年1月30日(金) 正午予定
入 学 手 続	令和8年2月26日(木)～3月2日(月)

※地震等の災害，台風の接近に伴う公共交通機関の乱れ及び計画運休等により，試験が実施できない場合は，予備日に試験を実施することがあります。その場合は，試験前日までに本研究科ホームページにて通知します。

I 出願資格 []内は令和7年10月入学者対象

1. 大学を卒業した者及び令和8年3月〔令和7年9月〕までに卒業見込みの者
2. 学校教育法第104条第7項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和8年3月〔令和7年9月〕までに授与見込みの者
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和8年3月〔令和7年9月〕までに修了見込みの者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和8年3月〔令和7年9月〕までに修了見込みの者
5. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者又は令和8年3月〔令和7年9月〕までに修了見込みの者
6. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和8年3月〔令和7年9月〕までに修了見込みの者
7. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和8年3月〔令和7年9月〕までに授与見込みの者
8. 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）

（以下の出願資格9、10及び11により出願を希望する者は、事前審査を受ける必要がありますので、47ページの「出願資格事前審査申請について」を参照してください。）

9. 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
10. 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月〔令和7年9月〕末までに22歳に達する者
11. 令和8年3月〔令和7年9月〕末日で次のいずれかに該当する者で、所定の単位を優れた成績で修得したと本研究科において認めた者
 - (1) 大学に3年以上在学した者
 - (2) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
 - (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
12. 次の語学基準を満たし、その証明書を提出できる者
 - (1) 農学系専攻：TOEIC400点以上
 - (2) 山口大学・カセサート大学国際連携農学生命科学専攻：TOEIC500点以上

※出願希望者は、出願前（なるべく早い時期）に希望する専攻・コースの指導教員に相談すること。

Ⅱ 出 願 手 続 等

1. 出 願 期 間

令和7年10月入学 (※農学系専攻のみ)	令和7年6月23日(月)～6月27日(金)《17時15分 必着》
令和8年4月入学(第1回)	令和7年6月23日(月)～6月27日(金)《17時15分 必着》
令和8年4月入学(第2回)	令和7年12月9日(火)～12月11日(木)《17時15分 必着》

(備考) 持参する場合は、上記出願期間中の9時から17時15分まで受け付けます。

2. 出 願 書 類 等

入 学 志 願 票	研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み)に、必要事項を記入してください。
写 真 票 受 験 票	本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み)に、必要事項を記入してください。 写真票の所定欄に、出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きの写真(4cm×3cm)を貼ってください。
卒 業 (見 込) 証 明 書	出身大学長(学部長)が作成したもの。(本学農学部卒業(見込み)者は不要)
成 績 証 明 書	出身大学長(学部長)が作成し、厳封したもの。(本学農学部卒業(見込み)者は不要) 専攻科修了見込み者または修了した者は、専攻科の成績証明書と併せて、短期大学若しくは高等専門学校の場合は成績証明書も提出してください。
検 定 料	30,000円 本研究科所定の払込用紙(本募集要項とじ込み)に、必要事項を記入のうえ最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行で山口大学指定の口座に払い込んだ後、郵便局・ゆうちょ銀行から受け取った振替払込受付証明書(お客さま用)を所定欄に貼り付けてください。 なお、納入された検定料は、39ページ「7. 検定料の返還について」に記載の返還請求できる場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
T O E I C スコアシート	農学系専攻は400点以上のTOEICスコアシート及びそのコピー、山口大学・カセサート大学国際連携農学生命科学専攻は500点以上のTOEICスコアシート及びそのコピーを提出してください。(オリジナルは、確認後返却します。) スコアシートは、2024年4月以降に受験したものが有効となります。 なお、TOEICについては、TOEIC L&R公開テスト(旧名称：TOEIC®テスト)のスコアのみ有効です。ただし、大学等において英語カリキュラム制度の一環としてTOEICを受験している場合は、大学等におけるTOEIC L&R IPテスト(旧名称：TOEIC®IPテスト)のスコアも有効としますが、その場合は、TOEICを英語カリキュラム制度の一環として取り入れていることが分かるもの(履修の手引きのコピー等)を添付してください。(山口大学在学者または卒業生は、履修の手引きのコピー等の提出は必要ありません。)
あ て 名 票	本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み)に、必要事項を記入してください。 (本学農学部卒業見込み者で農学系に志願する者は提出の必要はありません。) なお、出願後住所を変更した場合は、速やかに届け出てください。
その他証明書	【出願資格2による出願者】 ・学士の学位を授与された者は、学位授与証明書。 ・学士の学位を授与される見込みの者は、在籍する短期大学長又は高等専門学校長が発行する次の証明書。 ①在籍する専攻科の修了見込証明書 ②学士の学位の授与を申請する予定である旨の証明書(様式任意) 【出願資格5による出願者】 出身学校の長が発行する証明書(本募集要項とじ込み、出願資格5用) 【日本国籍を有しない者】 農学系の一般選抜志願者は、旅券または在留資格を証明する書類の写しを提出してください。

※出願書類等は、本研究科入学者選抜において必要なため、提出いただくものです。これによって得た個人情報、個人情報保護に関する法律第18条第3項各号及び第27条第1項各号に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で使用又は第三者に提供することはありません。

3. 出 願 方 法

入学志願者は出願書類等を取りまとめ、「5. 提出先」へ提出してください。

出願書類を郵送する場合は、「特定記録郵便速達」とし、封筒の表に「博士前期課程・修士課程
出願書類在中」と朱書してください。

4. 志 望 方 法

(1) 志望専攻

志望は1専攻1コースに限ります。(山口大学・カセサート大学国際連携農学生命科学専攻を除く)

(農学系を志望する者は、コースを選択する必要はありません。また、山口大学・カセサート大学国際連携農学生命科学専攻を志望する者は、農学系専攻を第2志望とすることができます。)

ただし、指導教員毎に受け入れ人数に限りがあります。それを超えた場合、面接等により調整することがあります。

(2) 入学志願票の記入について

1. 志望学系、受験区分、志望専攻・コース及び希望指導教員

山口大学大学院創成科学研究科博士前期課程・修士課程案内(50ページ～)を参照のうえ、志望学系、受験区分、専攻及び希望指導教員名を必ず記入してください。

(農学系はコースを記入しないでください。)

2. 受験区分コード

受験区分コードは、40ページ「2. 一般選抜受験区分コード」及び「3. 専門科目の内容」を参照し、希望する指導教員と相談のうえ、志願票の受験区分コード欄に記入してください。

5. 提 出 先

山口大学農学部学務係 〒753-8515 山口市吉田1 6 7 7 - 1
電話 (083) 933-5811

6. 受験票の送付

手続後、受験票を郵送又は担当窓口で配付します。選抜期日の3日前までに届かない場合は、提出先に問い合わせてください。

7. 検定料の返還について

(1) 次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。

- ①検定料を納入済みであるが山口大学に出願しなかった場合
- ②検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③出願書類等を提出したが出願が受理されなかった場合

(2) 返還請求の方法

上記①又は②に該当した場合は、下記の連絡先に連絡してください。連絡があった後に「検定料払戻請求書」を送付しますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

また、上記③の場合は、出願書類返却の際に「検定料払戻請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ、下記の連絡先に郵送してください。

連絡先 〒753-8511 山口市吉田1 6 7 7 - 1 国立大学法人 山口大学財務部財務課 電話 083 (933) - 5098

Ⅲ 選 抜 方 法 等

学力検査、面接（山口大学・カセサート大学国際連携農学生命科学専攻）及び出願書類（学業成績）を総合して判定します。

1. 学 力 検 査 等

専 攻	コース	学力検査
農学系専攻	農学コース	英語*, 専門科目
	生命科学コース	
山口大学・カセサート大学 国際連携農学生命科学専攻	農学コース	英語*, 専門科目, 面接
	生命科学コース	

※農学系専攻及び山口大学・カセサート大学国際連携農学生命科学専攻における英語の学力検査は、英語能力テスト（TOEIC）のスコアにより評価します。

筆記試験は行いませんので注意してください。スコアの換算については別表1を参照してください。

別表：TOEICのスコア換算式

TOEICのスコアは、TOEIC 600点を筆記試験100点満点の80点に換算して評価します。換算式は以下のとおりです。

x：TOEICのスコア

y：換算点（100点満点における評価点）

TOEIC	
$y = (2 / 15) x$	$(0 \leq x \leq 600)$
$y = (2x + 1920) / 39$	$(600 \leq x \leq 990)$
換算例	
x	y
300	40
450	60
600	80
800	90

2. 一般選抜受験区分コード

一般選抜は、志願票に記載された受験区分コードごとの受験となりますので、出願前に希望する指導教員と相談してください。

専攻	コース	受験区分コード
農学系専攻	農学コース	61
	生命科学コース	
山口大学・カセサート大学 国際連携農学生命科学専攻	農学コース	62
	生命科学コース	

3. 専門科目の内容

専攻名	コース名	専門科目の内容
農学系専攻	農学コース	※農学系専攻および山口大学・カセサート大学国際連携農学生命科学専攻では、希望する指導教員によって専門科目の内容が異なります。その範囲は希望する指導教員の研究分野から出題します。詳しくは「50ページの教育研究分野」を参考にしてください。
	生命科学コース	
山口大学・カセサート大学 国際連携農学生命科学専攻	農学コース	
	生命科学コース	

4. 選 抜 期 日

ア. 令和7年10月入学

専 攻 名	期 日	試験科目	時 間
農学系専攻	令和7年7月31日(木) (予備日) 令和7年8月6日(水)	専門科目	14時00分～15時30分

イ. 令和8年4月入学(第1回)

専 攻 名	期 日	試験科目	時 間
農学系専攻	令和7年7月31日(木) (予備日) 令和7年8月6日(水)	専門科目	14時00分～15時30分
山口大学・カセサート大学 国際連携農学生命科学専攻		専門科目 面 接	14時00分～15時30分 16時00分～

ウ. 令和8年4月入学(第2回)

専 攻 名	期 日	試験科目	時 間
農学系専攻	令和8年1月15日(木)	専門科目	14時00分～15時30分
山口大学・カセサート大学 国際連携農学生命科学専攻		専門科目 面 接	14時00分～15時30分 16時00分～

5. 試 験 場

農学系専攻, 山口大学・カセサート大学国際連携農学生命科学専攻 (吉田キャンパス)

山口大学農学部 山口市吉田1677-1

裏表紙の案内図を参照してください。

6. 注 意 事 項

- (1) 受験の際は, 受験票を必ず携行してください。
- (2) 試験開始20分前までに試験室に入室してください。
- (3) 受験に際して, 机上には受験票, 鉛筆, 消しゴム, 時計(計時機能だけのもの), 関数電卓(持参を指定した受験区分で特殊な機能がないもの)以外のものを置いてはいけません。
受験会場には, 時計が設置されていません。計時機能だけのものを持参してください。
- (4) 学力検査に不要な携行品は, 監督者の指示する場所に置いてください。
また, 携帯電話等は, 試験室に入る前にアラームの設定を解除し必ず電源を切ってかばん等に入れておいてください。
- (5) 提出書類については, 出願手続後, 内容の変更を認めません。
- (6) 応用数学を筆記試験で受験する場合, 関数電卓の使用はできません。
- (7) 入学試験に関する照会は, 次をお願いします。
山口大学農学部学務係 電話(083)933-5811

Ⅳ 合 格 発 表

令和7年10月入学	令和7年8月25日(月) 正午予定
令和8年4月入学(第1回)	令和7年8月25日(月) 正午予定
令和8年4月入学(第2回)	令和8年1月30日(金) 正午予定

創成科学研究科ホームページに合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者に合格通知書を送付します。なお、電話による照会には一切応じません。

共 通 事 項

I 入 学 手 続

1. 入学手続期間及び入学手続書類の提出先について

各学系の合格者は、次の期間内に該当する提出先で入学手続を完了するようにしてください。

入学の時期	学 系	提 出 先	手 続 期 間
令和7年10月	理学系	理学部学務係	令和7年9月1日(月)～9月3日(水)
	工学系	工学部学務課入試係	
	農学系	農学部学務係	
令和8年4月	理学系	理学部学務係	令和8年2月26日(木)～3月2日(月)
	工学系	工学部学務課入試係	
	農学系	農学部学務係	

※入学手続関係書類は、令和7年10月入学者に対しては令和7年8月下旬に、令和8年4月入学者に対しては、令和8年2月中旬に送付します。

2. 入学時に要する経費

(1) 入学料及び授業料

入学料（入学手続時納付）	282,000円（予定額）
授業料（入学後納付）	前期分 267,900円（予定額） 後期分 267,900円（予定額）

注1. 本募集要項公表後、令和8年度入学者に係る入学料、授業料の改定を本学として決定した場合は、改定後の額となります。また、既に納入されていた場合は改定額との差額を納入していただくことになります。

2. 在学中の授業料の納付は、自動払込利用申込書に基づき、前期分は5月末日、後期分は11月末日（末日が土・日の場合は、その前の平日）に学生（または学資負担者）名義の口座から自動的に引き落とし大学に納付することになります。引落日の前日までに必ず入金しておいてください。
3. 授業料は、在学中に授業料改定を行った場合、新授業料を適用します。
4. 入学手続を行った者が入学を辞退したときは、納付済の入学料はいかなる理由があっても返還しません。

(2) 諸経費

学生健康保険組合	5,000円
学生教育研究災害傷害保険	2,430円（学生教育研究賠償責任保険を含みます。）

(3) 後援会費、同窓会費

[理学系]：基盤科学系専攻、地球圏生命物質科学系専攻

教育後援会費	
本学理学部出身者で既に入会済みの方	8,000円

上記以外で新規に入会される方 14,000円（入会金6,000円を含む。）

[工学系]：機械工学系専攻、建設環境系専攻、化学系専攻、電気電子情報系専攻

教育後援会費	10,000円
工学部同窓会(常盤工業会)費	100,000円（終身会費）
(工学部同窓会(常盤工業会)費を既に納めている者は、不要です。)	

[農学系]：農学系専攻、山口大学・カセサート大学国際連携農学生命科学専攻

教育後援会費	25,000円（ただし、山口大学農学部出身者については、このうち入会金10,000円を免除します。）
農学部同窓会費	10,000円（ただし、山口大学農学部出身者で既に納めている者は、不要です。）

3. 入学料及び授業料免除について

入学料及び授業料の納付が困難な者に対しては、それぞれ免除する制度があります。この制度により、入学料及び授業料の免除を希望する者は、下記へ問い合わせください。

- ・ 山口大学学生支援部学生支援課学生サービス係
山口市吉田1677-1 電話 (083) 933-5611
- ・ 山口大学工学部学務課学生係
宇部市常盤台2丁目16-1 電話 (0836) 85-9011

II 障害等のある入学志願者との事前相談

障害等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、対応を事前に協議しますので、希望する対応を記載した相談書（次ページに様式を掲載）を各系一般選抜における「II. 出願手続等5. 提出先」へ次のとおり提出のうえ、相談してください。

(1) 相談書に記載する内容

- ①氏名，生年月日，性別 ②郵便番号，住所，電話番号 ③最終出身学校名
- ④志望専攻名，希望指導教員氏名 ⑤障害等の種類・程度 ⑥受験上希望する具体的対応
- ⑦修学上希望する具体的対応 ⑧最終出身学校における生活状況等（主として授業関係）
- ⑨その他 ⑩添付書類（医師の診断書，身体障害者手帳（写）（交付を受けている者）），
その他相談する際に必要と思われる参考資料

(2) 相談書の提出期限

入 試 区 分	該当学系	提 出 期 限
令和7年10月入学（一般等）	全学系	令和7年5月30日（金）
令和8年4月入学（推薦入試）	理学系	令和7年5月9日（金）
令和8年4月入学（口述試験）	工学系	令和7年5月16日（金）
令和8年4月入学（第1回）	全学系	令和7年6月2日（月）
令和8年4月入学（第2回）	理学系	令和7年10月17日（金）
	工学系	令和7年9月26日（金）
	農学系	令和7年11月5日（水）

(様式)

令和 年 月 日

山口大学 副学長（教育学生担当）殿

フリガナ

氏名

性別

住所〒

電話番号

最終出身学校名

事前相談書

山口大学大学院に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。

記

1. 志望する研究科・専攻（専修，コース等）及び入試種別
2. 希望指導教員名（希望があれば記載）
3. 障害等の種類，程度
4. 受験上の配慮を希望する事項
5. 修学上の配慮を希望する事項
6. 大学等における生活状況等（主として授業関係）
7. その他
8. 添付書類
 - ☐医師の診断書（写し可）または障害者手帳の写し ※配慮の根拠を示す書類として，いずれかを必ず添付してください。日本語または英語の診断書を推奨します。
 - ☐その他相談する際に必要と思われる参考資料

※募集要項の「障害等のある入学志願者との事前相談について」を確認の上，記入してください。

Ⅲ 出願資格事前審査申請について

(一般選抜の出願資格9, 10及び11, 社会人特別選抜の出願資格9に関わる認定について)

1. 出願資格 [] 内は令和7年10月入学対象

(1) 一般選抜の出願資格9について

学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者としてします。(大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したことにより、所定の修業年限未滿で大学院に入学した者が、その後に本研究科に入学しようとする場合が該当します。)

提出書類

- ・出願資格事前審査申請書(本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み))
- ・入学試験出願資格審査調書(本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み))
- ・在籍した最終大学の在籍期間証明書及び成績証明書
- ・在籍大学院研究科の在学証明書及び成績証明書
- ・返信用封筒(長形3号封筒に、本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、110円切手を貼ったもの)

(2) 一般選抜の出願資格10及び社会人特別選抜の出願資格9について

本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月末[令和7年9月末]までに22歳に達する者。(短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他教育施設の修了者で3年以上社会人として企業、各種機関等で卒業論文に相当する研究あるいは実務に従事した者が該当します。)

提出書類

- ・入学試験出願資格事前審査申請書(本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み))
- ・入学試験出願資格審査調書(本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み))
- ・最終出身学校の卒業(修了)証明書
- ・研究発表、技術報告、特許及び実用新案など具体的な活動状況を示す資料及びこれらに相当する参考資料があれば添付してください。

また、基盤科学系専攻、地球圏生命物質科学系専攻を志望する者で、職歴がある場合は業務従事証明書(事業所・研究所長等が発行したもので業務内容がわかるもの。(様式任意))を添付してください。

なお、必要に応じ、面接を行うことがあります。その場合は事前に通知します。

- ・返信用封筒(長形3号封筒に、本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、110円切手を貼ったもの)

(3) 一般選抜の出願資格11について

令和8年3月末日[令和7年9月末]で大学に3年以上在学し、本研究科の事前審査により、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者としてします。(出願時において大学の3年次に在学し、当該年度の3月31日[9月30日]で在学年数が3年に達する者及び大学院の修学に必要な基礎的な授業科目の単位を全て修得しており、修得した専門科目の成績が特に優秀である者が該当します。)

なお、学部3年次生を対象とする特別選抜に関する募集については、別に定める募集要項「学部3年次生を対象とする特別選抜」を参照してください。

2. 事前審査受付期間

(1) 令和7年10月入学

[理学系]: 令和7年6月2日(月)～6月4日(水)《17時15分 必着》

[工学系]: 令和7年6月4日(水)～6月6日(金)《17時15分 必着》

[農学系]: 令和7年6月4日(水)～6月6日(金)《17時15分 必着》

(2) 令和8年4月入学(第1回)

[理学系]: 令和7年6月2日(月)～6月4日(水)《17時15分 必着》

[工学系]: 令和7年6月4日(水)～6月6日(金)《17時15分 必着》

[農学系]: 令和7年6月4日(水)～6月6日(金)《17時15分 必着》

(3) 令和8年4月入学（第2回）

〔理学系〕：令和7年10月15日（水）～10月17日（金）《17時15分 必着》

〔工学系〕：令和7年10月1日（水）～10月3日（金）《17時15分 必着》

〔農学系〕：令和7年11月4日（火）～11月6日（木）《17時15分 必着》

（郵送の場合は特定記録郵便速達とし、封筒表面に「出願資格事前審査申請書在中」と朱書きしてください。）

3. 提出先

〔理学系〕：山口大学理学部学務係

〒753-8512 山口市吉田1 6 7 7 - 1

電話（083）933-5215

〔工学系〕：山口大学工学部学務課入試係

〒755-8611 宇部市常盤台2丁目1 6 - 1

電話（0836）85-9012

〔農学系〕：山口大学農学部学務係

〒753-8515 山口市吉田1 6 7 7 - 1

電話（083）933-5811

4. 結果の通知

(1) 令和7年10月入学

〔理学系〕：令和7年6月16日（月）までに通知

〔工学系〕：令和7年6月19日（木）までに通知

〔農学系〕：令和7年6月19日（木）までに通知

(2) 令和8年4月入学（第1回）

〔理学系〕：令和7年6月16日（月）までに通知

〔工学系〕：令和7年6月19日（木）までに通知

〔農学系〕：令和7年6月19日（木）までに通知

(3) 令和8年4月入学（第2回）

〔理学系〕：令和7年11月7日（金）までに通知

〔工学系〕：令和7年10月24日（金）までに通知

〔農学系〕：令和7年12月5日（金）までに通知

5. 出願手続

事前審査により出願を認められた者は、所定の出願手続を行ってください。

IV. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例について

1. 趣旨

近年、科学技術の進歩に伴い、大学院における社会人技術者、教育者、研究者の再教育への要望が高まっています。しかし、通常の方法のみで大学教育を実施した場合、社会人は最低2年間その勤務を離れて修学する必要があるため、大学教育を受ける機会が制約されがちです。

このため、大学院設置基準第14条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されて、社会人技術者、教育者、研究者の修学に特別措置を行うことができるよう配慮がなされています。

これを踏まえ、本学大学院創成科学研究科では、大学院での履修を希望する社会人技術者、教育者、研究者に対し大学院設置基準第14条に定める特例による教育を実施します。

V. 大規模自然災害により被災した志願者の検定料の免除について

山口大学では、大規模自然災害により被災した受験者の進学機会を支援するために、本学が実施する学部及び大学院入学試験の入学で、下記に該当する場合には、検定料免除の特別措置を行います。検定料の免除を希望される志願者は、出願前に必ず学生支援部入試課までご連絡ください。

大規模自然災害により災害救助法適用地域において被災し、次のいずれかに該当する方

1. 主たる学資負担者が所有する居住家屋等が全壊（全焼，全流失含む。）、大規模半壊，半壊（半焼含む。）、浸水等の被害を受けた場合
2. 主たる学資負担者が当該災害により死亡又は行方不明の場合

※免除の対象及び期間について

本件は、災害発生後に実施される入学試験が対象となります。期間については、原則、当該災害が発生した年度及び翌年度の2年間が対象となります。詳細は下記問い合わせ先で確認してください。

検定料免除に関する問い合わせ先

山口大学学生支援部入試課 電話（083）933-5153

山口大学大学院創成科学研究科 博士前期課程・修士課程案内

(教員の役職名は令和7年4月1日現在のものです)

山口大学大学院創成科学研究科博士前期課程・修士課程案内

科学技術の高度化と多様化に対応して学問がますます専門化していく一方、従来の学問体系にみられない新しい境界領域と学問領域が開拓され科学技術の総合化が進められています。

本大学院創成科学研究科は、このような学問の高度化と総合化に幅広く柔軟に対応し得る研究者・技術者を養成するために、多様な教育研究体制を準備しています。所属以外の専攻の授業科目も履修するように指導するだけでなく、他研究科の履修も可能です。

本大学院創成科学研究科博士前期課程・修士課程の専攻・コース及び研究内容は、別記のとおりです。入学後は、特定の専攻・コースに所属し、指導教員の下で研究を行うことになります。次ページ以降の案内を参考に志望専攻・コース及び指導教員を選定してください。

* 1 令和8年3月末退職予定

* 2 令和9年3月末退職予定

(博士前期課程)

基盤科学系専攻 [Division of Fundamental Sciences]

コース	研究内容	教員名
数 理 科 学 コ ー ス	フーリエ解析, 偏微分方程式論, 関数解析, 数理モデル	教 授 廣澤 史彦
		准教授 幡谷 泰史
		准教授 山崎 陽平
		助 教 小杉 千春
	環論, 加群論, 表現論, 数論	教 授 菊政 勲 ^{*2}
		教 授 倉富 要輔
		准教授 南出 真
		講 師 塚本 真由
		講 師 平川義之輔
	微分幾何学, 幾何解析学, 大域解析学	講 師 只野 誉
	写像の特異点論及びその微分幾何学への応用	講 師 寺本 圭佑
	位相幾何学, 結び目理論, 3次元多様体	教 授 宮澤 康行
		助 教 脇條奈生子
	代数的組合せ論, 離散幾何学	准教授 栗原 大武
	流体力学や電磁気学への数学的アプローチ	教 授 西山 高弘
	解析的な一変数複素関数の基本的・応用的な性質に関する研究	教 授 堀田 一敬
	代数多様体のガロワ点理論	教 授 三浦 敬
	タイヒミュラー空間の複素解析的研究	講 師 柳下 剛広
	メビウス幾何学, クライン群	講 師 孫 立杰
	群論, 半順序集合の幾何	教 授 飯寄 信保
	数式処理	教 授 北本 卓也
	複素解析的手法を用いた作用素論	准教授 泉池 耕平
物 理 学 コ ー ス	長鎖分子系・高分子の構造と相転移に関する研究	教 授 野崎 浩二
	分光法による溶液分子の構造と物性及び電子状態に関する研究	准教授 堀川 裕加
	強相関電子系化合物の磁性, 伝導特性, 相転移に関する研究	講 師 藤原 哲也
	非平衡多体系ダイナミクスの理論的研究	助 教 日浦 健
	電磁信号解析的手法による宇宙物理学の観測的研究	教 授 藤澤 健太 (時間学研究所)
		教 授 新沼浩太郎
		准教授 元木 業人
	高次元理論の視点から見る素粒子標準模型を超える理論の探索	助 教 竹内 万記
	宇宙の創生・進化と強重力天体に関する理論的研究, スポーツ動作の物理学的研究	教 授 坂井 伸之
	宇宙論および重力理論の検証に関する理論的研究	准教授 齊藤 遼
情 報 科 学 コ ー ス	計算論的神経科学, 脳の学習理論, 音楽情報科学	教 授 西井 淳
	人間や生体の視覚機能及び情報処理機能に学んだ知的画像処理に関する研究	教 授 末竹 規哲
	情報処理に関する数理モデルの理論的研究	教 授 川村 正樹
	生体分子系におけるコンピュータシミュレーション	教 授 浦上 直人
	誤り訂正符号に関する理論とその応用	准教授 野崎 隆之
	マルチエージェントシステムの動力学に関する研究	准教授 上田 仁彦
	機械学習を用いた統計的データ解析の身体運動科学への応用	講 師 栗原 俊之
	脳神経回路の大規模数値シミュレーション	助 教 小林 泰良
	機械学習の手法を用いた電波天文に関する研究	助 教 酒見はる香

(博士前期課程)

地球圏生命物質科学系専攻 [Division of Earth Science, Biology, and Chemistry]

コース	研究内容	教員名
生物学コース	体内時計分子メカニズム研究と時間医学的应用研究	教授 明石 真 (時間学研究所)
	原生生物の行動と繊毛機能に関する研究	教授 堀 学
	細胞運動の光学顕微鏡を用いた研究	教授 岩楯 好昭
	微細藻類の環境応答・代謝に関する研究	教授 三角 修己
	昆虫の環境適応と表現型可塑性に関する生理代謝機構の研究	教授 山中 明
	ツメガエル初期胚の細胞周期とオルガネラ形成の研究	准教授 上野 秀一
	植物の光応答・シグナル伝達機構の研究	准教授 武宮 淳史
	細胞内オルガネラの形態制御機構の研究	准教授 原 裕貴
	昆虫の行動、形態、生活史の進化に関する研究	准教授 小島 渉
	メイオファウナの多様性に関する研究	助教 藤本 心太
	昆虫の行動と形態を制御する遺伝学的メカニズムに関する研究	助教 工藤 愛弓
化学コース	新規有機化合物の合成と物性に関する教育と研究	准教授 藤井 寛之
	分子集合体・分子性結晶の構造と物性に関する研究	准教授 網島 亮
	有機化合物を中心とした光機能物質の研究	教授 川俣 純
	分子の電子構造と物性に関する研究	准教授 谷 誠治 ^{*1}
	低次元化合物を用いた機能性材料の開発	准教授 鈴木 康孝
	固体表面における物理物性と電気化学的反応性からの教育と研究	教授 本多 謙介
	光機能性無機材料の物性および反応性の研究	教授 山崎 鈴子 ^{*1}
	バルク・界面・表面における分子集合体に関する研究	准教授 安達 健太
	分子認識能を有する機能性高分子に関する教育と研究	准教授 藤原 勇
	典型元素と非交互共役系の電子特性を活かした有機分子の研究	教授 村藤 俊宏
	高効率的な有機合成を指向した新規分子変換法の開発に関する研究と開発	准教授 上條 真
地球科学コース	金属錯体の物性と機能の研究	助教 鈴木 敦子
	熱帯および暖流域における新生代の古海洋・古気候変動の復元	講師 岩谷 北斗
	小規模深成岩体の岩石学的研究	助教 江島 圭祐
	地質災害の発生機構と地盤・地下水環境解析に関する研究	教授 太田 岳洋
	変動帯に産するマグマの成因と地殻-マントル相互作用の解析	教授 大和田正明 ^{*1}
	堆積、圧密、付加、崩壊プロセスに関する研究	研究教授 川村喜一郎
	堆積有機分子による古環境・古生物相の研究	講師 齊藤 諒介
	沈み込み帯・衝突帯における地震断層の発生メカニズム・変形微細構造と物理化学的プロセスの研究	助教 Sarkar Dyuti Prakash
	陸域及び海域の付加体地質学と海溝型地震学	教授 坂口 有人
	変成岩に関わる温度-圧力とテクトニクスの解析	教授 志村 俊昭
	付加体・火山地域におけるフィールド地質学	講師 辻 智大
	地球・惑星構成鉱物における遷移金属と水素の存在状態・結晶構造・物性の系統的解明に関する研究	若手先進教授 永瀧真理子
	プレート収束帯の構造発達史・地震発生メカニズム・堆積環境場の変遷に関する研究	講師 濱橋 真理 (国際総合科学部)

博士前期課程・
修士課程案内

(博士前期課程)

機械工学系専攻 [Division of Mechanical Engineering]

コース	研究内容	教員名
応用医学コース	生体内力学解析, 生体・医療材料の力学特性評価に関する教育と研究	教授 大木 順司
	超音波などを使った生体測定と数値計算を用いた医療機器の設計に関する教育と研究	教授 森 浩二
	埋植型の局所脳温度制御デバイス並びに多機能脳活動センサの開発とこれらデバイスにより得られる病態性脳活動の信号処理技術の開発に関する教育と研究	准教授 井上 貴雄 (大学研究推進機構)
	分子動力学シミュレーションによる生体材料の力学特性・構造変化の分子レベルでの評価に関する教育と研究	准教授 重松 大輝
航空宇宙エネルギーコース	人工衛星データを利用した地球観測の応用に関する教育と研究	教授 大澤 高浩 (大学研究推進機構)
	熱CVD法による薄膜生成, 燃焼反応による微粒子生成, 木質バイオマスからの燃料生成に関する教育と研究	教授 田之上健一郎
	エンジンの燃焼・排気・騒音特性, 噴霧・液滴群・マイクロ燃焼, 消音器の消音特性に関する教育と研究	教授 三上 真人
	産業界や実社会への活用を目指した境界層や噴流などの基本的な流れの解明と制御に関する教育と研究	教授 望月 信介 ^{*2}
	人工衛星からのリモートセンシング技術, 処理アルゴリズム, および地球環境監視への応用に関する教育と研究	准教授 今岡 啓治 (大学研究推進機構)
	ネットゼロ社会を実現するためのエネルギー機械およびシステムの分析・設計・制御に関する教育と研究	准教授 上道 茜
	複雑な流動現象のモデル開発及び数値シミュレーションに関する教育と研究	准教授 蔣 飛
	プラズマを用いたカーボンニュートラル燃料製造に関する教育と研究	准教授 白石 僚也
	ハイブリッドロケットに用いる固体燃料の燃焼に関する教育と研究	講師 坂野 文菜
メカノシステムデザインコース	事業戦略立案から計算機による高度解析を駆使した最適設計に至る, 機械システム設計における一連の理論と支援方法に関する教育と研究	教授 古賀 毅
	人間・機械システムに関する諸問題, システムインテグレーションと制御系設計論に関する教育と研究	教授 藤井 文武
	微小な世界の物理現象や生体の微細構造・機能に着目して, 生体に適した微小機械の設計・試作, 試作に必要な微細加工技術の開発, および微小機械による生体や細胞の特性の解明・操作, 医療への応用などに関する教育と研究	教授 南 和幸 ^{*1}
	動的システムのモデリングと制御に関する教育と研究	准教授 新銀 秀徳
	マイクロデバイスの開発とバイオシステムへの応用に関する教育と研究	准教授 中原 佐
	鉄鋼材料の組織制御と特性評価に関する教育と研究	准教授 Arnaud MACADRE
	医療用センサ・アクチュエータのシミュレーションおよび実験による設計・開発に関する研究	准教授 森田 実
	機械システムの幾何形状・制御の同時最適化手法に関する研究, 太陽および地球周りにおける宇宙機の軌道最適化に関する研究	准教授 山口 皓平

(博士前期課程)

建設環境系専攻 [Division of Construction and Environmental Engineering]

コース	研 究 内 容	教 員 名
社会建設工学コース	河川・流域における自然環境・防災に関わる教育と研究	教 授 赤松 良久
	耐候性鋼橋梁を中心とした鋼橋の腐食と維持管理に関する研究	教 授 麻生 稔彦
	都市や地域の活動を支える社会基盤を計画的に整備・マネジメントするための研究	教 授 榊原 弘之
	環境性能・防災性能・維持管理性能に優れた道路構造に関する教育と研究	教 授 中島伸一郎
	土質材料の力学特性および地盤工学の数値解析に関する研究	教 授 中田 幸男
	環境共生都市実現のための技術開発および豊かな水環境の保全に関する教育と研究	教 授 山本 浩一
	地盤工学における資源の開発と有効利用に関する教育と研究	准教授 吉本 憲正
	交通基盤施設と耐震設計およびGNSSによる橋梁モニタリングに関する研究	准教授 渡邊 学歩
	コンクリートの製造・施工・維持管理の高度化に関する教育と研究	講 師 山田 悠二
国際建設技術コース	鋼橋の腐食・防食と維持管理による橋梁長寿命化に関する研究	助 教 蓮池 里菜
	水理学に関する基礎的研究とその防災および環境問題への応用	教 授 朝位 孝二 ^{*2}
	地震ならびに降雨時の地盤の諸性質の評価と設計法についての教育と研究	教 授 鈴木 素之
	セメント系材料による複合構造の設計・施工・メンテナンスに関する教育と研究	教 授 吉武 勇
	自然災害で汚染された土壌の微生物による浄化に関する研究	准教授 Md. Azizul Moqsud
	写真測量・リモートセンシング・統計解析に関する教育と研究	准教授 神野 有生
	態度・行動分析を基盤とした都市・地域計画に関する教育と研究	准教授 鈴木 春菜
	種々の地盤材料の性質とその評価に関する教育と研究	准教授 原 弘行
	土構造物の設計・施工・維持管理に関する教育と研究	准教授 森 啓年
工学コース 環境システム	循環型社会実現のための、有用資源の再生技術、廃水処理・廃棄物処理技術、リサイクルシステムに関する教育と研究	教 授 今井 剛
	環境修復、資源循環および分離技術に関する教育と研究	教 授 新苗 正和 ^{*1}
	環境汚染の評価・制御および廃棄物管理に関する教育と研究	教 授 樋口 隆哉
	廃棄物資源循環技術、ライフサイクルアセスメント、物質フローに関する研究	助 教 程 英超
建築学コース	都市・建築空間を中心とした企画・計画および設計に関する教育研究	教 授 鵜 心治
	地域固有の条件を考慮した住居・地域計画に関する教育と研究	教 授 牛島 朗
	「まち」と「建築」、「環境」と「形態」、「感性」と「工学」の関係性をグローバルな視点で分析・評価をすることによる「建築デザイン」の実践的教育と研究	教 授 清水 里司
	サステナブルな都市づくりの観点から地区・街区スケールでの空間デザイン・マネジメントに関する教育研究	教 授 宋 俊煥
	屋内や屋外の温熱環境の評価と最適設計並びに環境共生型建築設備の研究開発	教 授 三浦 克弘
	建築材料の性能評価・解析的予測法および環境配慮型選択・設計法の研究開発	教 授 李 柱国
	屋内や屋外の温熱環境の評価と最適設計並びに環境共生型建築設備の研究開発	准教授 桑原 亮一
	都市・建築空間の定量的・視覚的評価に基づく計画に関する教育研究	准教授 小林 剛士
	都市住宅の政策およびその計画・設計に関する教育研究	准教授 白石 レイ
	木質材料を中心とした建築構法・構造システムの開発及び史的研究	准教授 松本 直之
	建築物の構造性能、耐震性能の評価に関する研究および合理的な建築構造システムの開発	講 師 秋田 知芳

(博士前期課程)

化学系専攻 [Division of Applied Chemistry]

コース	研 究 内 容	教 員 名
物質化学コース	リチウム二次電池用機能性電解液に関する教育と研究	教 授 安部 浩司 (大学研究推進機構)
	有機エレクトロニクスデバイスに適用できる新規材料を有機化学的手法を用いて合成し、それを用いたデバイスの作製と評価に関する教育と研究	教 授 鬼村謙二郎
	エネルギーの創製、物質の効率的変換や環境保全などを担う触媒合成とその機能解明に関する教育と研究	教 授 酒多 喜久 ^{*2}
	機能性無機材料の固体化学および結晶構造と物性の相関に関する教育と研究	教 授 中塚 晃彦
	無機および無機-有機複合材料の合成とエネルギー・環境応用に関する教育と研究	教 授 中山 雅晴
	機能性電解質溶液・ゲルの熱力学および構造化学と環境調和型材料への展開研究	教 授 藤井 健太
	有機ゲル化剤や液晶材料など有機機能性材料の合成と応用に関する教育と研究	准教授 岡本 浩明
	高機能セラミックスの開発とスペクトロスコピー	准教授 藤森 宏高
	分光法による固体触媒の機能解明に関する教育と研究	准教授 吉田 真明
	結晶成長機構の発見とその応用技術の確立を目指した新しい結晶成長学	講 師 麻川 明俊
	機能性超分子材料の合成と分子マシンへの応用に関する教育と研究	講 師 山吹 一大
	資源循環およびエネルギー創製に向けた新規材料開発のための教育と研究	助 教 吉田 航
生命化学コース	食・エネルギー・医療へ貢献するための遺伝子工学技術開発と遺伝子機能解析に関する教育と研究	教 授 赤田 倫治 ^{*1}
	新規機能高分子材料の合成とその医療材料、電子材料等への応用および、電界紡糸法によるナノファイバーの調製とその応用に関する教育と研究	教 授 堤 宏守 ^{*1}
	金属触媒を利用する新しい有機合成反応開発のための教育と研究	教 授 西形 孝司
	食・エネルギー・医療へ貢献するための生物工学技術開発と生命機能解析に関する教育と研究	教 授 星田 尚司
	バイオ、メディカルあるいは食品プロセスの解析・開発のための生物化学工学および生物反応工学に立脚した教育と研究	教 授 吉本 誠
	元素の特性を利用する新しい有機反応開発のための教育と研究	准教授 川本 拓治
	バイオ、メディカルあるいは食品プロセスの解析・開発のための生物化学工学および生物反応工学に立脚した教育と研究	准教授 吉本 則子
	食、エネルギー、環境または医療へ貢献するための生物工学、分子生物学および生命機能解析に関する教育および研究	助 教 寺内 裕貴 (大学研究推進機構)
環境化学・化学工学コース	無機材料をベースとした新規電極材料合成と電気化学反応評価に関する教育と研究	教 授 喜多條鮎子
	機能性薄膜の製膜、及び、エネルギー・化学品製造や環境負荷低減への応用に関する教育と研究	教 授 熊切 泉
	化学プロセスの高効率化、最適化、省エネルギー化について、移動現象とプロセス設計の立場からの教育と研究	教 授 佐伯 隆
	計算化学による触媒反応の反応機構探索と新規機能性材料の分子設計および開発に関する教育と研究	教 授 隅本 倫徳
	化学物質の省資源・省エネルギー的な製造プロセスの開発と応用、および高機能・高性能材料の開発と応用に関する教育と研究	教 授 田中 一宏 ^{*2}
	分離膜、機能性ゲル、固体高分子電解質などの機能性高分子材料と、これを応用した省エネルギー分離プロセスに関する教育と研究	教 授 比嘉 充 ^{*2}
	環境低負荷で高効率な製造・応用プロセスを実現する微粒子デザイン開発に関する教育と研究	准教授 石井 治之
	複雑流体の特性評価とその内部構造の理解、および他の物性との関連付けによる流動現象の解明に関する教育と研究	准教授 貝出 絢
	生体触媒を利用した環境調和型化学プロセスの設計と機能性材料の開発に関する教育と研究	准教授 通阪 栄一
	触媒反応を利用した機能性有機化合物の合成と機能性有機材料の開発とに関する教育と研究	准教授 山本 豪紀
	高分子電解質膜などの高分子材料を用いた電気化学反応プロセスに関する教育と研究	講 師 遠藤 宣隆
	高分子膜を用いたイオン分離、イオン輸送機構の解明、および創エネルギーに関する教育と研究	助 教 杉本 悠

(博士前期課程)

電気電子情報系専攻 [Division of Electrical, Electronic and Information Engineering]

コース	研究内容	教員名
電子デバイス工学コース	微細構造制御及び計算物性手法による通信・記録・エネルギー変換用電子デバイスの開発	教授 赤井 光治 (国際総合科学部)
	スピントロニクス材料および微細加工を用いた磁性デバイス応用に関する研究	教授 浅田 裕法 ^{*2}
	イオン性プラズマの生成とその物性解明に関する研究	教授 大原 渡
	コンピュータ・シミュレーションによる物性の研究	教授 仙田 康浩
	スピン伝導現象の解明とそれらを用いた新規スピントロニクス素子開発	教授 長浜 太郎
	レーザ分光法を利用したワイドギャップ半導体およびその低次元量子構造における光物理現象の解明と光機能性に関する研究	教授 山田 陽一
	ナノスケールを舞台とした新奇な磁性・超伝導現象の探索とデバイス応用	准教授 家永紘一郎
	窒化物半導体を用いた次世代型光・電子デバイスの開発	准教授 岡田 成仁
	様々な材料の基礎物性のコンピュータ・シミュレーションによる研究, 及びアモルファス半導体材料の光学的性質に関する研究	准教授 荻原 千聡 ^{*1}
	金属系超伝導体や酸化物超伝導体を用いた線材の開発や超伝導コイルの設計・応用に関する研究	准教授 原田 直幸
	顕微分光学的手法を用いたワイドギャップ半導体の光学評価に関する研究	講師 倉井 聡
	熱電材料・デバイスの開発	助教 岸本 堅剛
	水素負イオン生成プロセスの解明に関する研究	助教 FENG SHUANGYUAN
	電気分解を利用したプロセスの改善: 電子材料間の接合と浄水用凝集剤の活性化	助教 村田 卓也 ^{*1}
電子システム工学コース	ビッグデータ, クラウド・エッジ, IoTに対する数値最適化および知的計算に基づく理論と応用に関する研究	教授 田村 慶信
	無線信号処理技術と無線ネットワークへの応用に関する研究	教授 村田 英一
	システム制御およびシステム最適化の理論と応用に関する研究	教授 若佐 裕治
	知能化計測およびシステム工学の理論と応用に関する研究	准教授 西藤 聖二
	高効率無線電力伝送システムの開発, 並びに媒質内における電磁界解析とその光・マイクロ波デバイスへの応用に関する研究	准教授 堀田 昌志
	パワーラインコンディショナ, LED用高効率電力変換システム, 大規模防災対応ユビキタス電源へのパワーエレクトロニクスの応用などの電力変換システムとその応用に関する研究	准教授 山田 洋明
	知的センシング及び知能情報処理とその応用に関する研究	講師 中島 翔太
	システム制御理論とその応用に関する研究	助教 足立 亮介
	無線通信における電波遮蔽とその軽減技術に関する研究	助教 Du Xin

(博士前期課程)

電気電子情報系専攻 [Division of Electrical, Electronic and Information Engineering]

コース	研 究 内 容	教 員 名
知能情報メディア工学コース	生物の遺伝子発現機構に基づく人工遺伝子回路の数理解析とモデル化および制御に関する研究	教 授 杉井 学 (国際総合科学部)
	コンピュータグラフィックスによる画像生成とバーチャルリアリティ等の応用システム開発に関する研究	教 授 多田村克己* ²
	聴覚メディアに関する現象の解析・理解・再現および工学的応用に関する研究	教 授 爲末 隆弘 (情報基盤センター)
	宇宙インフラ（地球観測衛星・測位衛星・通信衛星を中心とした宇宙技術）を利活用して得られる膨大な空間・地理データの解析および利用手法に関する教育と研究	教 授 長井 正彦 (大学研究推進機構)
	機械学習を用いた知的情報処理モデルの構築と大規模データ分析等への応用に関する研究	教 授 間普 真吾
	視覚系を中心とした人間の知覚認知メカニズムの解明	准教授 相田 紗織
	非線形科学や視覚心理学的手法に基づく人の視知覚の理解と、その画像処理、映像表現技術への応用に関する研究	准教授 長 篤志
	人間の聴覚情報処理機構に基づいた音環境の計測・予測・評価および制御に関する研究	准教授 佐伯 徹郎
	脳の情報処理機構の解明による知的情報処理システムの構築とリモートセンシング分野への応用に関する研究	准教授 佐村 俊和 (大学研究推進機構)
	パターン認識及び画像処理の基礎と応用に関する教育と研究	准教授 藤田 悠介
	ビジュアルコンピューティングに関する教育と研究、さらに汎用グラフィックハードウェアを用いた画像処理手法の並列実装技術およびパターン認識技術に関する教育研究	准教授 水上 嘉樹
	人の視覚を計算機で実現するコンピュータビジョンに関する研究	准教授 守田 了
	医療分野における画像処理に関する教育と研究	助 教 池部 怜
情報システム工学コース	「半教師あり深層学習」を用いたリモートセンシング分野への応用	助 教 GERDPRASERT THANAWIT (大学研究推進機構)
	計算機構の理論的解析と効率的なアルゴリズム構成に関する研究	教 授 王 躍 (情報基盤センター)
	社会基盤施設や工業製品の自動外観検査、診断、さらにライフサイクルマネジメントを行う知的システムの企画・設計・開発・実用化に関する教育と研究	教 授 河村 圭
	社会基盤を対象とした情報システムの構築とメタヒューリスティックによる最適化手法の工学的応用に関する教育と研究	教 授 中村 秀明* ²
	高信頼並列分散システムおよびネットワークに関する教育と研究	教 授 福士 将
	ソフトウェア工学、システム工学などに関する教育研究	教 授 山口 真悟
	グラフアルゴリズムおよびデータマイニングに関する研究	准教授 荒木 徹也
	協調伝送、変復調、符号、信号処理、機械学習を融合した無線通信方式に関する研究	准教授 井田 悠太
	異種メディアコンテンツの融合に基づく情報共有支援システムに関する研究	准教授 王 元元
	自然災害や人為災害に対する被害抑止、軽減手法の開発および危機管理・防災システムの設計に関する教育と研究	准教授 瀧本 浩一
	耐故障性を有した並列分散システムに関する教育と研究	助 教 黒川 陽太

(博士前期課程・修士課程)

農学系専攻 [Division of Agricultural Sciences]

山口大学・カセサート大学国際連携農学生命科学専攻 [Yamaguchi University and Kasetsart University Joint Master's Degree Program in Agricultural and Life Sciences]

コース	研究内容	教員名
農学コース	水欠乏、過湿、高温などの環境ストレスに対する植物の耐性機構に関する研究 環境ストレスを軽減する栽培管理に関する研究	教授 荒木 英樹
	画像による植物生体情報解析 植物生産における光環境制御	教授 荊木 康臣
	植物工場における野菜の高効率生産と高付加価値化 地球温暖化に対応した新しい野菜品種の開発	教授 執行 正義
	降水雲および降雪雲内の雲物理学的直接観測研究 降水・降雪現象と農業気象災害に関する研究	教授 鈴木 賢士
	作物の多収性・高品質性についての生理生態学的解析 高付加価値生産・持続的作物生産のための作物栽培体系の確立	教授 高橋 肇
	アジアにおけるシロアリの多様性維持に関する研究 シロアリの同胞認識機構に関する研究	教授 竹松 葉子
	果樹における諸形質の遺伝と育種への利用に関する研究 果樹における機能性成分・有効活用法に関する研究	准教授 金 貞希
	植物工場における植物の生理機能の評価とモデル化 未利用資源を活用した省エネルギー・低コストな栽培環境制御法の開発	准教授 佐合 悠貴
	土壌伝染性植物病原菌の病原性因子に関する研究 植物病原菌の比較ゲノム解析	准教授 佐々木一紀
	副産物石膏の農業的利用 初等中等教育における土壌教育の研究	准教授 藤間 充
	動物の生態と獣害防除に関する研究 地域個体群の遺伝的多様性	准教授 細井 栄嗣
	植物の耐乾性および節水機構の分子的解明 耐乾性および節水性機構を保持した新規作物系統の育種	准教授 妻鹿 良亮
	土壌有機物（腐植物質）の微生物による変遷過程・機構の解明 秋吉台における土壌生成過程・機構の解明	准教授 柳 由貴子
	黄砂の時空間分布の解析 黄砂発生メカニズムの解明と黄砂予測モデルへの応用	助教 武 靖
	植物病原体の感染メカニズムの解明 植物病の診断・防除技術に関する研究	助教 北沢 優悟
	銅矢板護岸における腐食実態の非破壊評価 流体－構造の相互作用に基づくパイプラインの漏水検出	助教 萩原 大生
生命科学コース	生理活性物質（フェロモン、アレロケミカルなど）の探索および有機合成に関する研究 香りの発生メカニズムとその生理的役割に関する研究	教授 赤壁 善彦
	病原微生物の付着と定着のメカニズム 微生物間のコミュニケーションとその応用	教授 阿座上弘行
	昆虫食の健康機能性評価 アンチエイジングと寿命延長を目指したシロアリの長寿命解析	教授 井内 良仁
	エネルギー代謝の時空間的な動態の解明 細胞の代謝状態をイメージング・操作するための分子ツールの開発	教授 今村 博臣
	金属タンパク質の機能解析 反応機構に基づいた酵素機能の改変	教授 小崎 紳一
	植物プラスチドにおける同化系代謝間制御の解析 フェレドキシンとその依存タンパク質間の相互作用と電子伝達メカニズムの解析	教授 木股 洋子
	微生物の代謝とロバスト性に関する研究 微生物の持つ特異な代謝機構に関する研究	教授 高坂 智之
	植物が代謝によって獲得する生理生態学的環境適応戦略の解明 作物が作り出す機能性物質の代謝経路の解明とその応用研究	教授 松井 健二*2

(博士前期課程・修士課程)

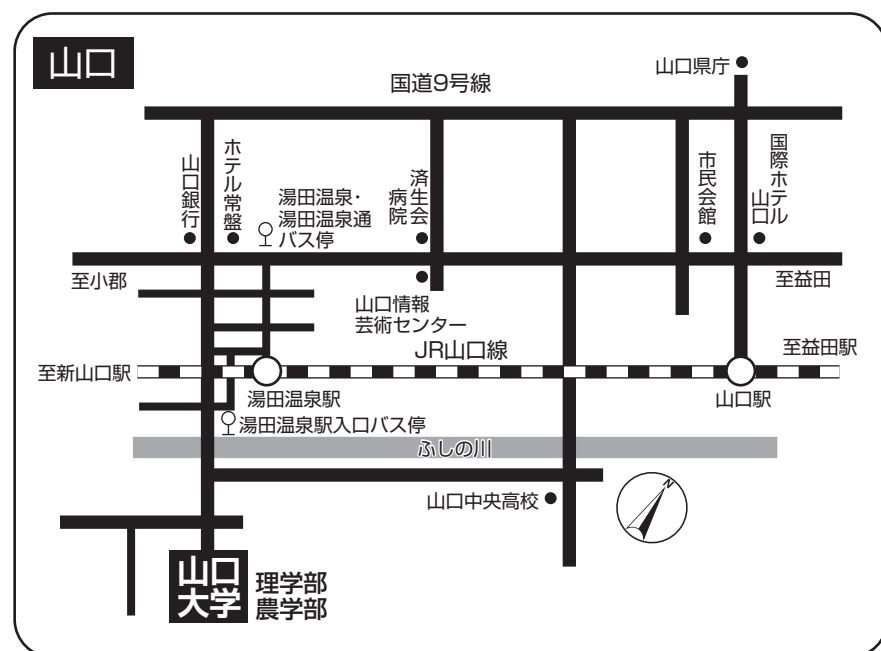
農学系専攻 [Division of Agricultural Sciences]

山口大学・カセサート大学国際連携農学生命科学専攻 [Yamaguchi University and Kasetsart University Joint Master's Degree Program in Agricultural and Life Sciences]

コース	研 究 内 容	教 員 名
生 命 科 学 コ ー ス	哺乳類神経筋システムの適応メカニズムに関する生理・生化学的研究 神経筋の加齢変化抑制のための運動刺激に関する研究	教 授 宮田 浩文* ¹
	微生物の代謝と酵素に関する研究 細胞膜で働く酵素複合体に関する研究	教 授 薬師 寿治*
	微生物の発酵生理学と代謝工学 微生物を用いた有用物質生産	准教授 片岡 尚也
	植物香気成分の生成機構の解明 植物内在性基質を利用した代謝工学による有用物質の生産	准教授 肥塚 崇男
	刺胞動物のストレス耐性に影響をもたらす共生微生物の機能解明 共生性微生物－宿主の細胞内共生成立メカニズムの解明	准教授 湯山 育子
	ゲノム倍数化が植物の成長に及ぼす影響の解析 核内倍加が関わる植物細胞の成長制御メカニズムについての研究	助 教 菊池 涼夏
	地下生命圏における微生物の生理生態学 微生物の温度適応メカニズムの解明	助 教 佐藤 悠
	耐熱性酵母の高温環境下における耐熱機構の解明と生育特性 ゲノム解析に基づく微生物の分類・同定方法の評価	助 教 前野慎太郎

※山口大学・カセサート大学国際連携農学生命科学専攻のみの担当教員

交通のご案内 ACCESS MAP

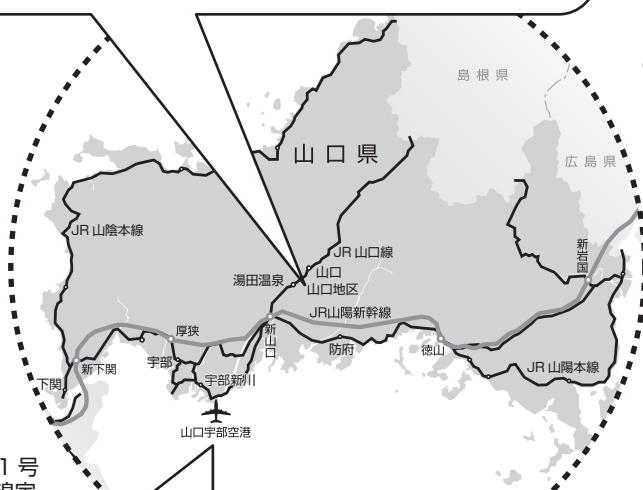


山口地区

■理学部・農学部

吉田キャンパス／
山口市吉田 1677-1

- JR 山陽本線新山口駅から JR 山口線「湯田温泉駅」下車。
JR 湯田温泉駅入口バス停から JR バス山口大学行「山口大学」下車。
- JR 新山口駅発 防長バス「道の駅仁保の郷」行、「県庁前」行、「宮野温泉」行、又は「スポーツの森」行「湯田温泉」下車。JR バス「山口大学」行に乗り換え「山口大学」下車、又は防長バス「新山口駅」行（権現堂橋経由）又は「リハビリ病院」行に乗り換え「山口大学前」下車。（徒歩の場合、湯田温泉バス停から約 35 分、JR 湯田温泉駅から約 25 分）
- JR 新山口駅から車で約 30 分



宇部地区

■工学部

常盤キャンパス／

- 宇部市常盤台 2 丁目16番 1 号
- JR新山口駅またはJR山陽本線宇部駅からJR宇部線「宇部新川駅」下車。
駅前バス停から宇部市営バス（下記のいずれかに）乗車し、工学部前下車。徒歩約 3 分。
・参宮通經由ひらき台行
・参宮通經由ひらき台・交通局行
・めぐりーな（東部市内循環線）
・萩原循環線
 - 山口宇部空港から車で約10分。

